

南三陸町地域公共交通計画 (案)

【資料編】

令和8年3月

南三陸町

[目次]

1. 現況整理	1
1-1 地域特性の整理	1
1-2 公共交通の実態把握.....	13
2. 公共交通に関する実態・ニーズ把握調査	30
2-1 町民アンケート調査(町実施).....	30
3. 資料	38
3-1 検討経過.....	38
3-2 南三陸町地域公共交通会議設置要綱.....	39
3-3 南三陸町地域公共交通会議委員名簿.....	42

1. 現況整理

1-1 地域特性の整理

1-1-1 観光の状況

(1) 観光客入込数

観光客入込数は、震災前は毎年約 100 万人程度で推移しているが、平成 23 年には東日本大震災が発生した影響により前年比の約 3 割にまで大幅に減少した。平成 29 年には震災前の水準を大きく上回る約 140 万人にまで増加したが、令和 1 年には減少に転じている。

また、令和 2 年には新型コロナウイルス感染症の影響により前年比の約 7 割にまで大幅に減少している。令和 4 年には再び増加傾向がみられ、令和 5 年には新型コロナウイルス感染症の影響する以前の水準を上回る約 120 万人まで回復した。

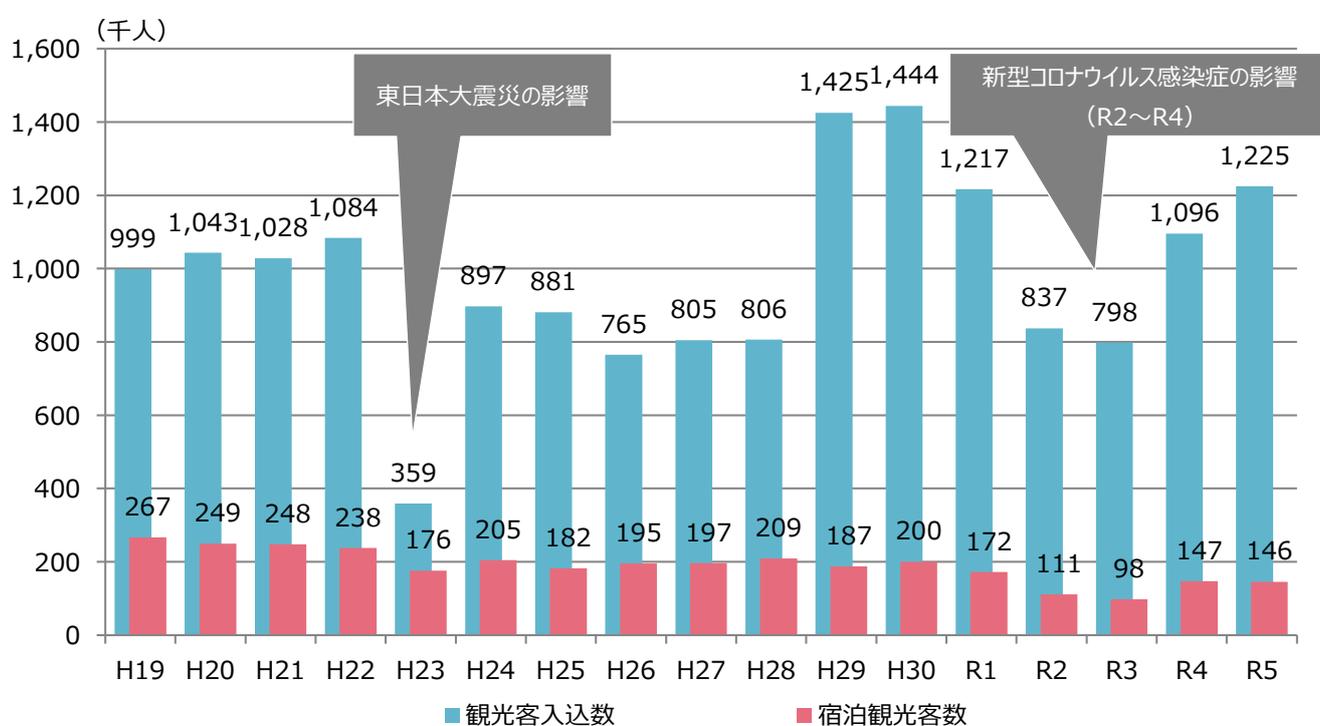


図 本町全体における観光客入込数と宿泊観光客数の推移

出典：宮城県観光統計

(2) 観光地別の観光客入込数

観光地点別の観光客入込数は、対象とする全ての施設で令和3年から増加傾向にあり、令和5年には「南三陸さんさん商店街」が約64万人と最も多くなっている。

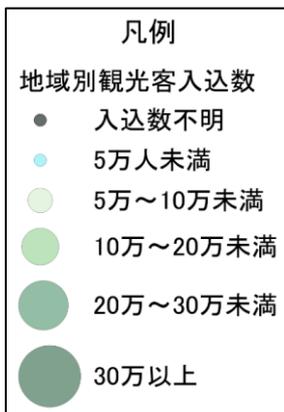


図 本町内における主要観光地点別観光客入込数 (R5)

出典：宮城県観光統計

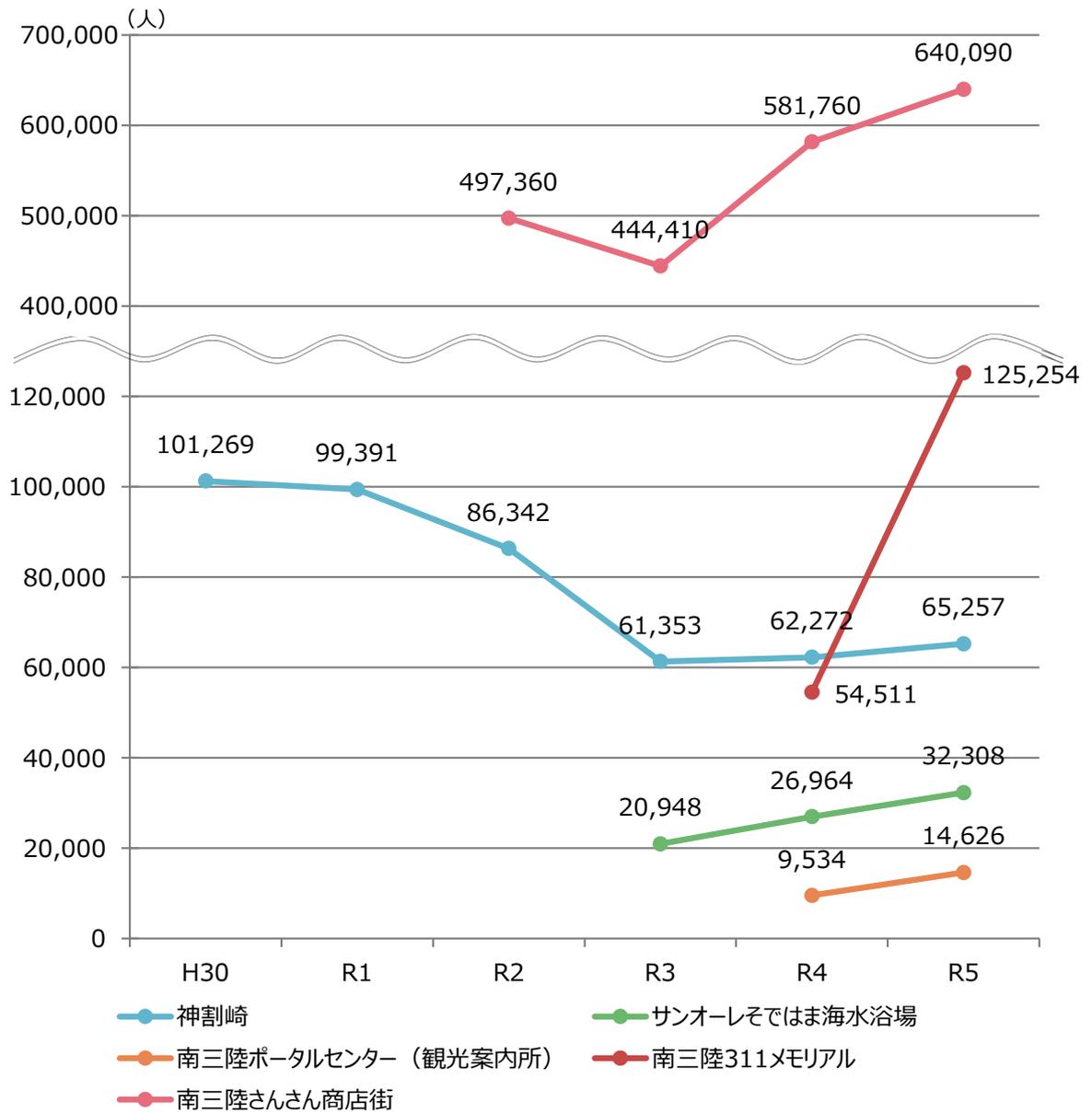


図 本町内における主要観光地点別観光客入込数

出典：宮城県観光統計

1-1-2 自家用車・運転免許など

(1) 自動車保有台数・世帯当たり保有台数の推移

自動車保有台数は緩やかな減少傾向となっており、約 10,000 台で推移している。

また、令和 6 年の世帯当たりの保有台数をみると、南三陸町が 2.29 台/世帯となっており、宮城県全体の 1.39 台/世帯に対して 0.90 台上回っている。

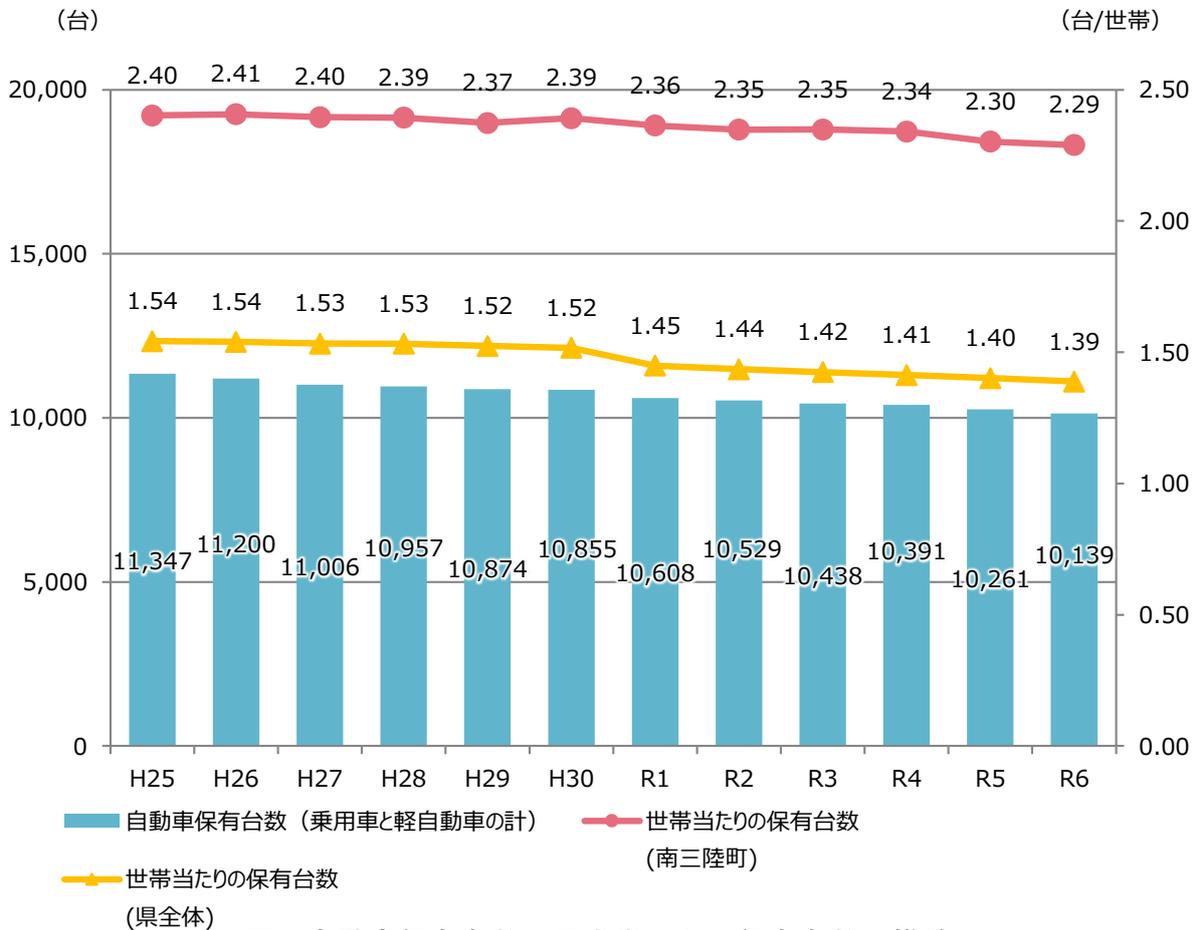


図 自動車保有台数・世帯当たりの保有台数の推移

出典：東北運輸局自動車技術安全部管理課、南三陸町 HP/住民基本台帳

(2) 年代別の運転免許保有者数

運転免許保有者数は微減の傾向となっており、令和5年には8,337人となっている。年代別にみると、69歳以下が減少傾向になっているのに対し、70歳以上は増加傾向がみられた。

運転免許証の保有率は微増の傾向となっている。

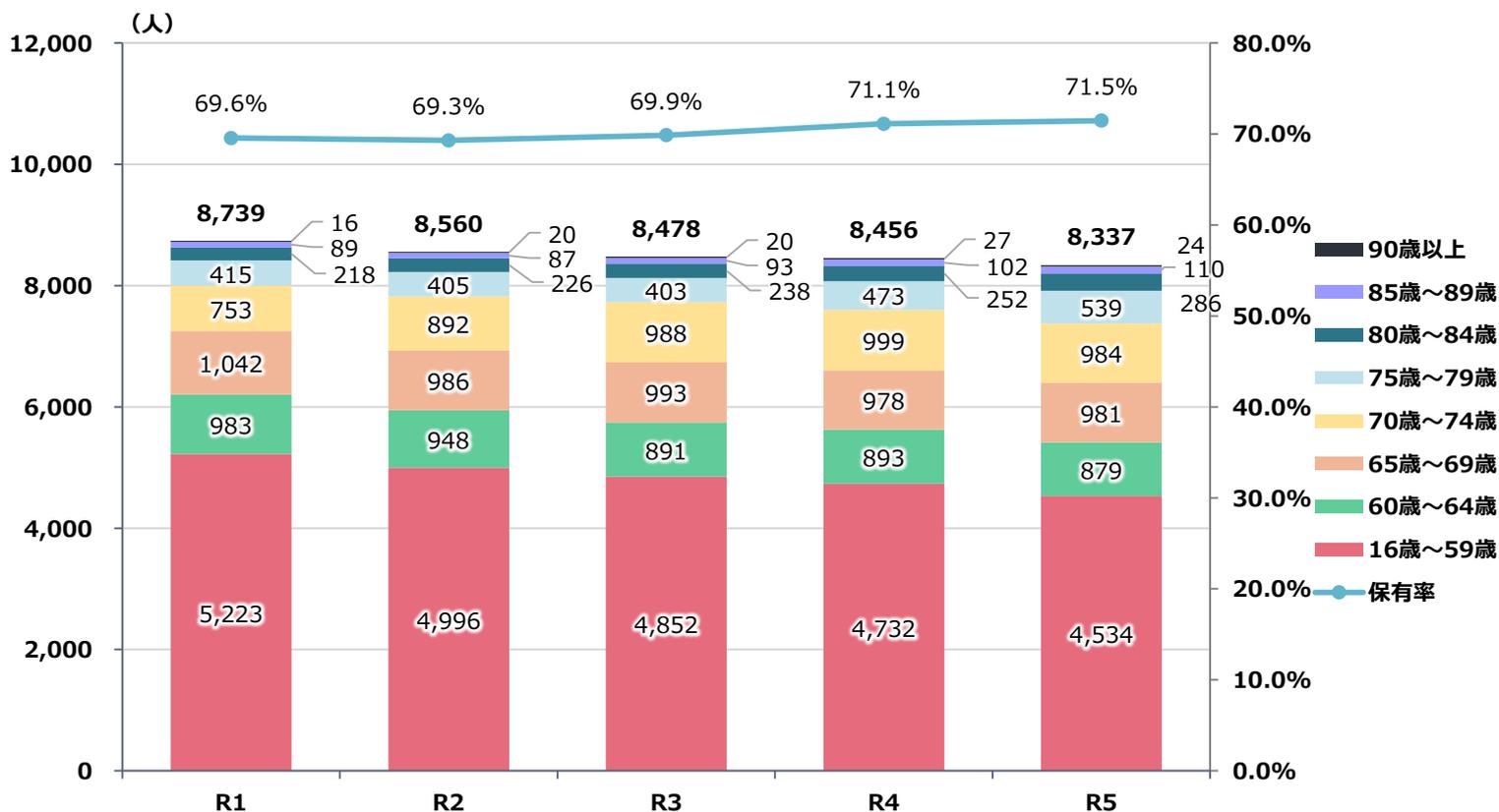


図 年代別自動車運転免許保有者数と割合の推移

出典：宮城県警 HP

(3) 運転免許返納状況

運転免許証の自主返納件数は令和2年の49件をピークに減少傾向となっている。令和5年には30件と、令和5年の運転免許保有者数8,337人のうちの0.4%を占めている。

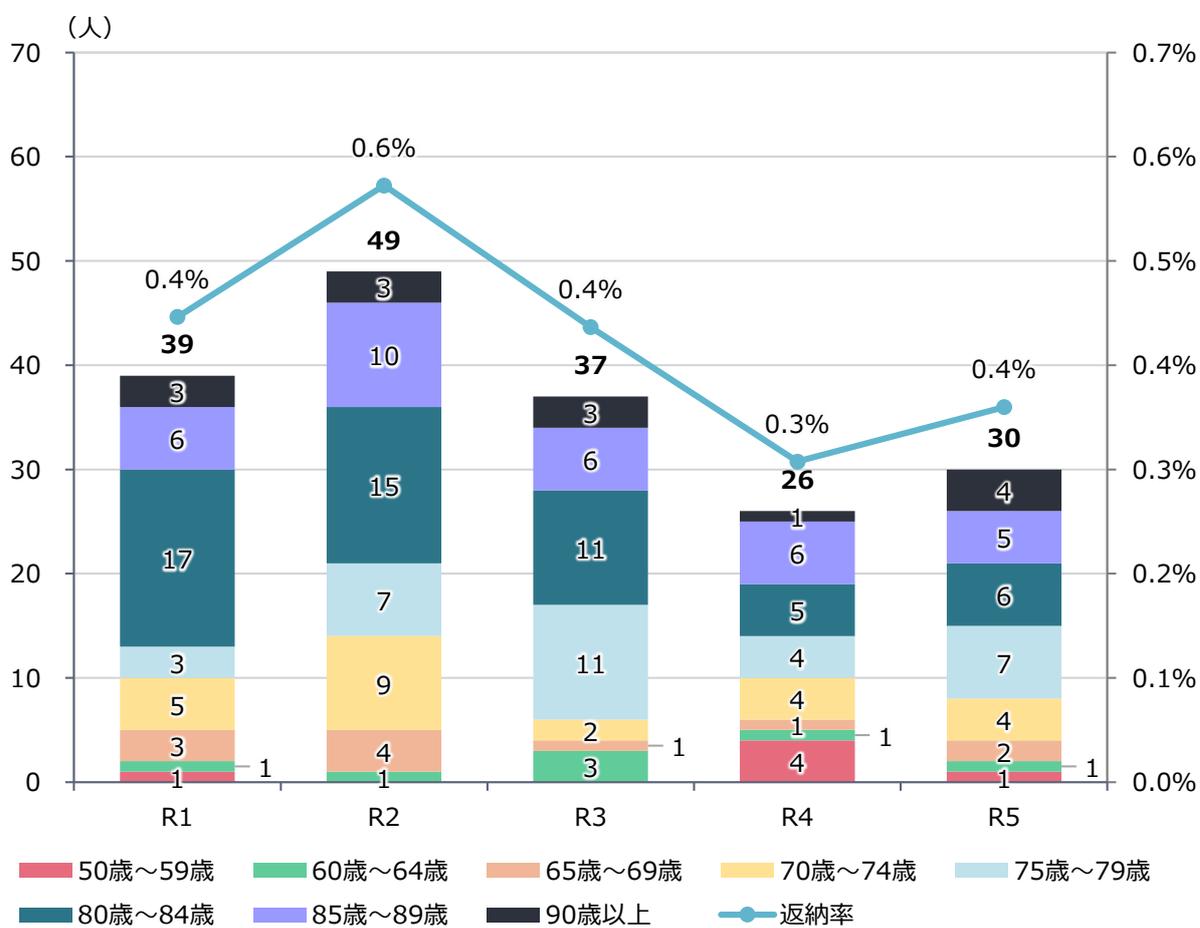


図 年代別自動車運転免許自主返納者数の推移

出典：宮城県警 HP

(4) 交通事故発生件数の推移

交通事故の発生件数は減少傾向となっており、令和7年には4件となっている。交通事故による傷者数も減少傾向となっていたが、令和5年から令和6年にかけて増加に転じた。令和7年には減少傾向がみられている。

また、本町では交通死亡事故ゼロ4,000日（令和7年5月時点）を達成している。

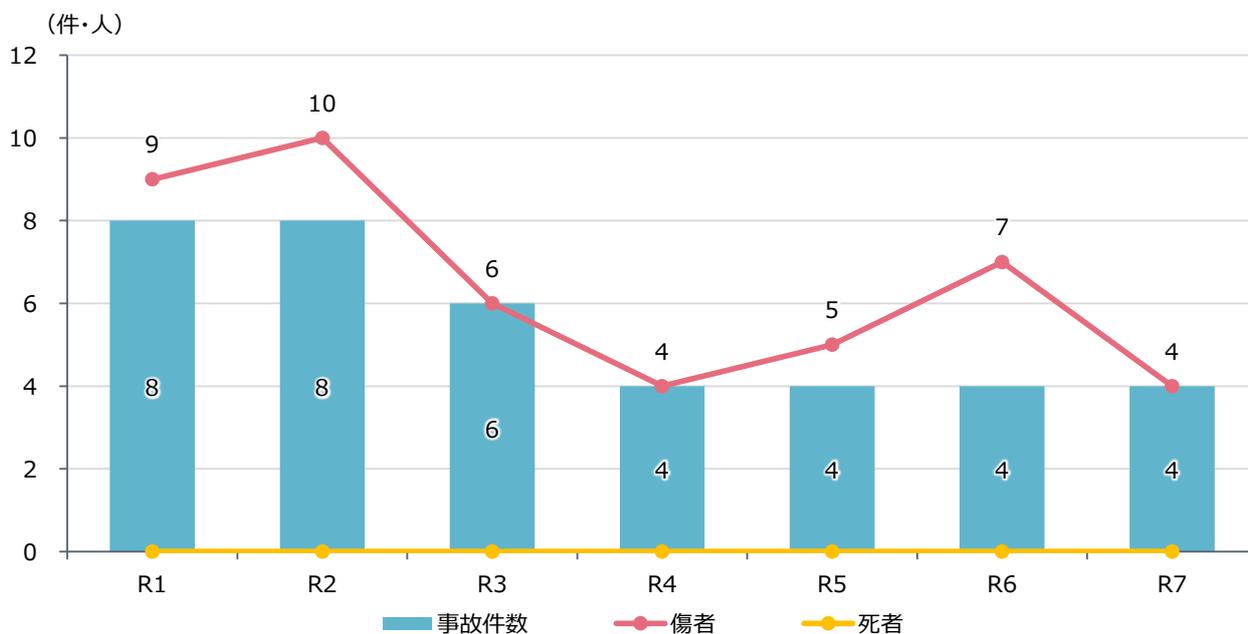


図 本町内における交通事故発生件数の推移

出典：宮城県警察本部交通部

1-1-3 流動状況

(1) 通学流動

本町に常住する通学者は409人で、そのうち町内での通学者は約5割を占めており、町内での通学流動が町外への通学流動に比べ僅かに多い傾向がある。その一方で、気仙沼市に約2割、登米市と仙台市へそれぞれ約1割の町外への通学流動もみられた。

通学手段をみると、自家用車による送迎が34.7%と最も多く、次いで乗合バスが27.9%と続いている。

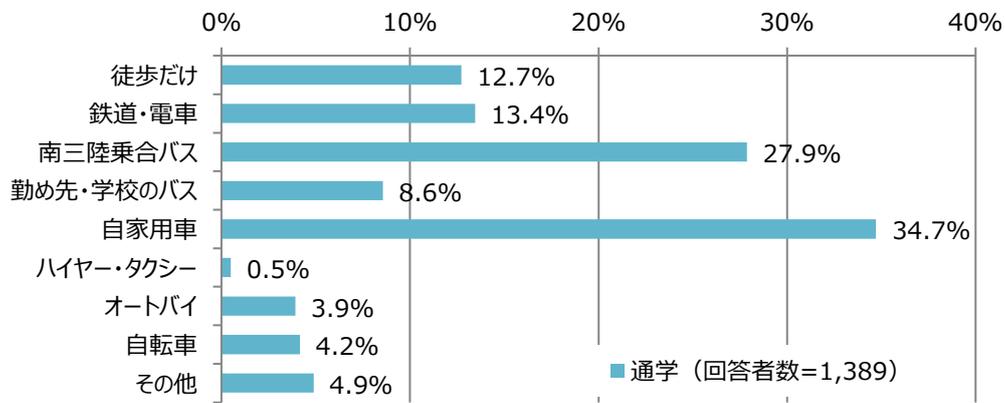
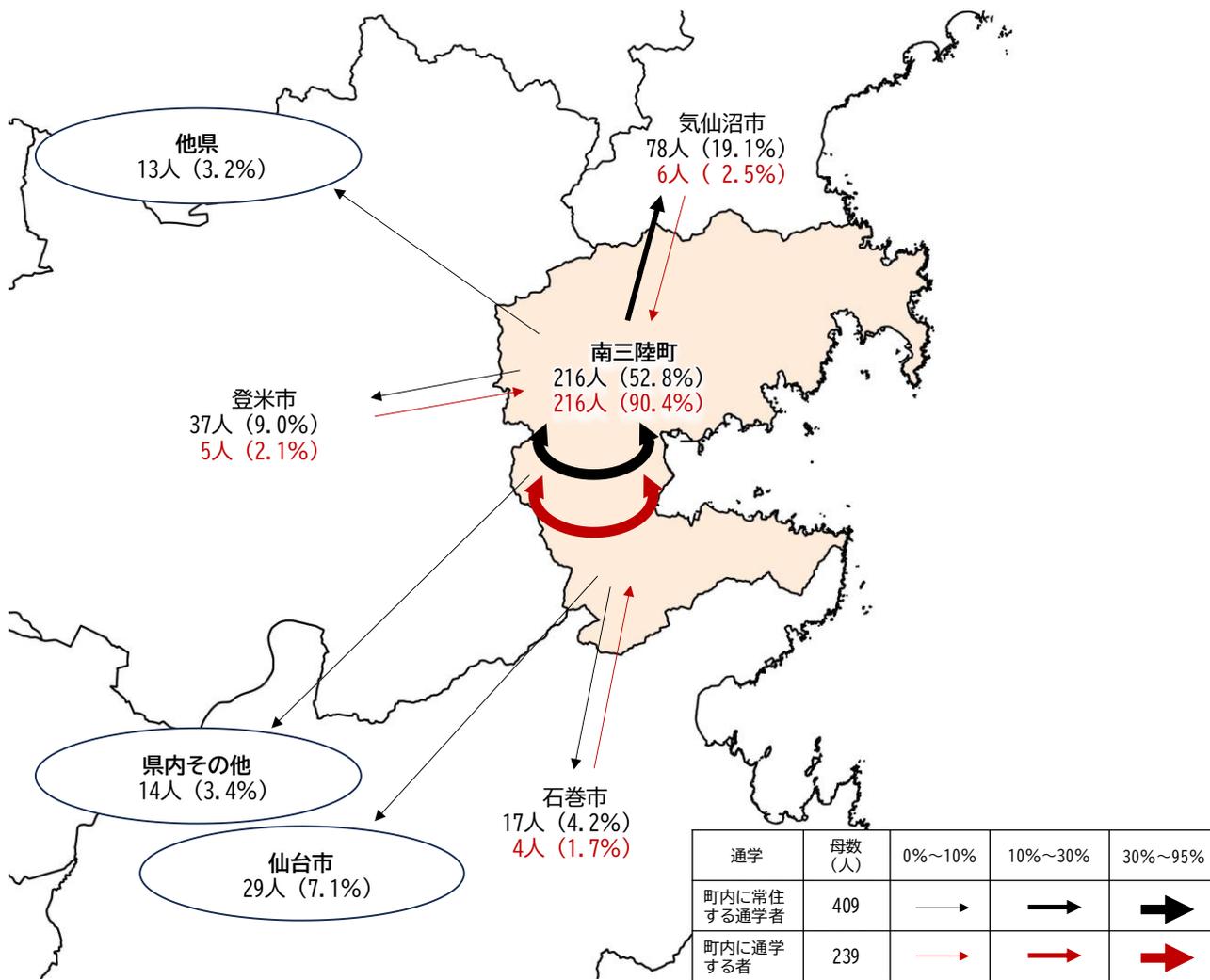


図 通学手段別割合

出典：国勢調査令和2年

(2) 通勤流動

本町に常住する通勤者は6,164人で、そのうち町内での通勤者は約8割を占めており、町内での通勤流動が多い傾向がある。その一方で、気仙沼市と登米市へそれぞれ約1割の町外への通勤流動もみられた。

通勤手段をみると、自家用車が86.1%と最も多く、他の移動手段の利用はほぼみられなかった。

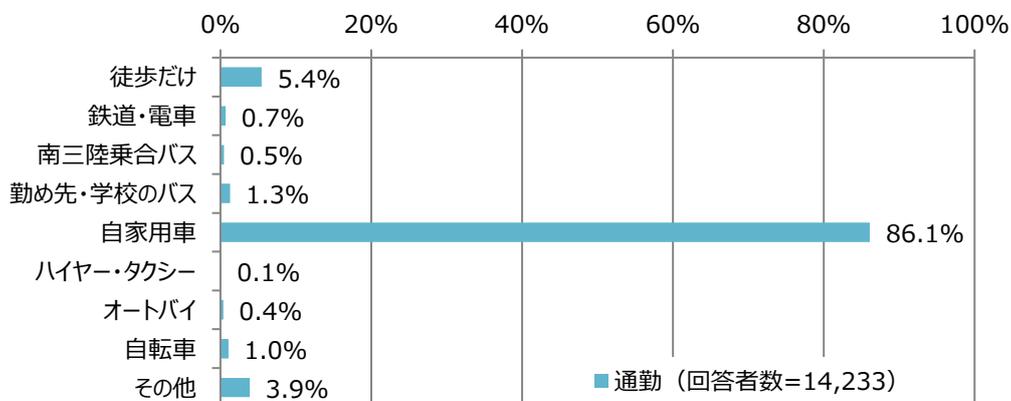
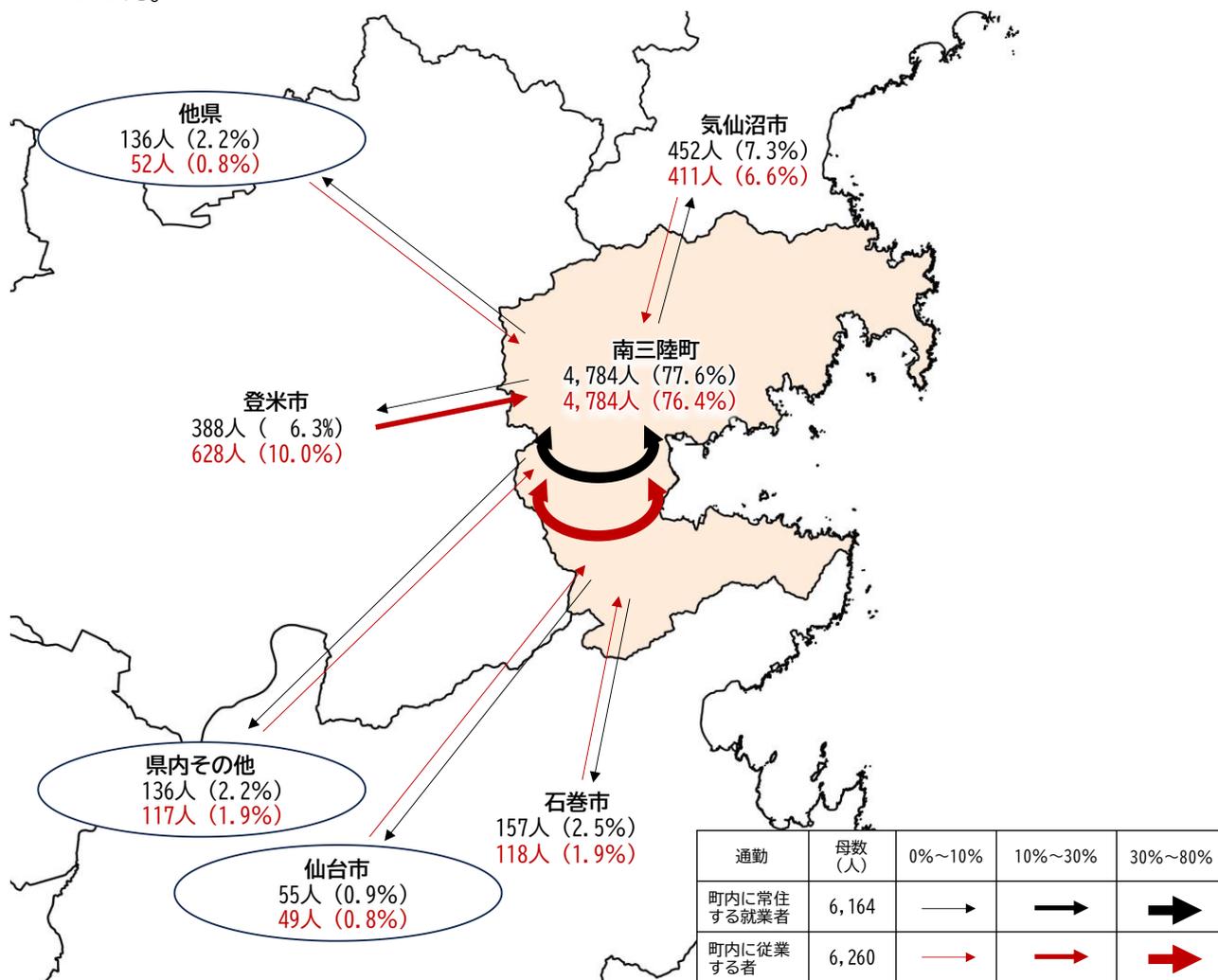


図 通勤手段別割合

出典：国勢調査令和2年

(3) 買物流動

買い物時の行先は、町内での買い物が全体で約8割を占めており、町内での買い物が多い傾向がある。その一方で、歌津地区では気仙沼市が約2割、戸倉地区では石巻市が、入谷地区と志津川地区では登米市が約1割と町外への流動もみられた。

南三陸町内での買い物先は「アップルタウン」が全体の約9割を占めている。

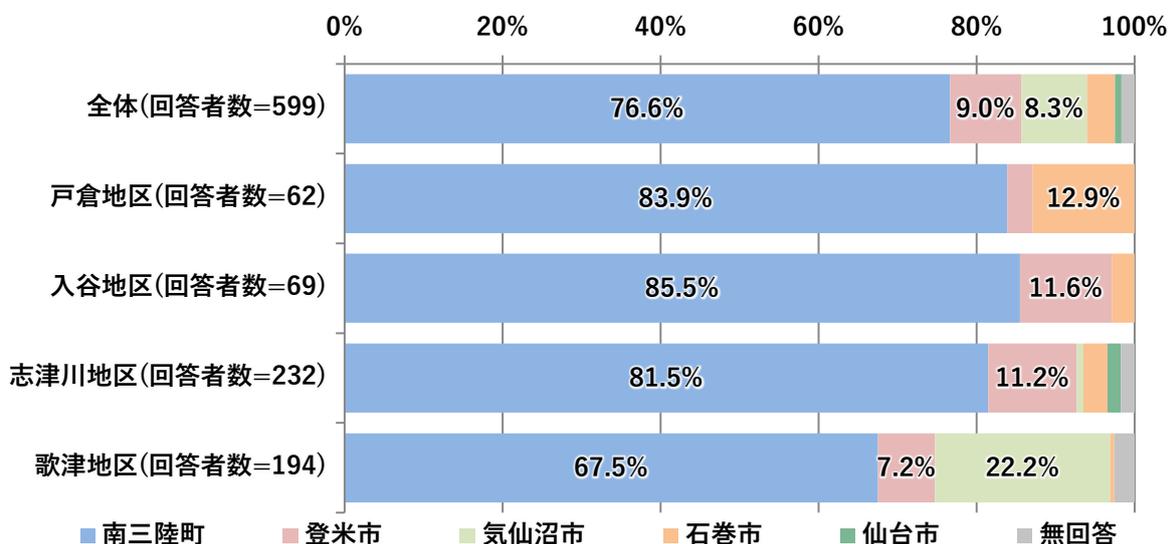


図 地区別の買い物先の自治体

出典：町民アンケート調査結果
 ※地区未回答は非表示
 ※5.0%未満非表示

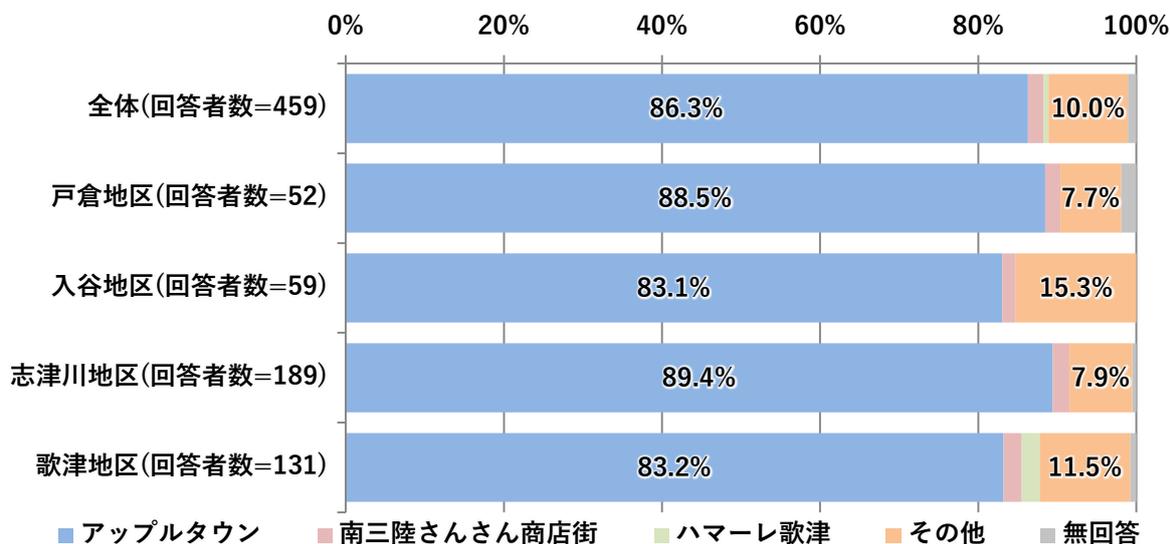


図 地区別の町内での買い物先

出典：町民アンケート調査結果
 ※地区未回答は非表示
 ※5.0%未満非表示

(4) 通院流動

通院時の行先は、町内での通院が全体で約5割を占めており、町内での通院が比較的多い傾向がある。また、入谷地区では南三陸町内と登米市がそれぞれ約4割を占めている。その一方で、歌津地区では気仙沼市が約3割、戸倉地区では登米市と石巻市、仙台市が、志津川地区では登米市と石巻市が約1割と町外への流動もみられた。

南三陸町内での通院先は「南三陸病院」や「佐藤徹内科クリニック」が多くみられた。

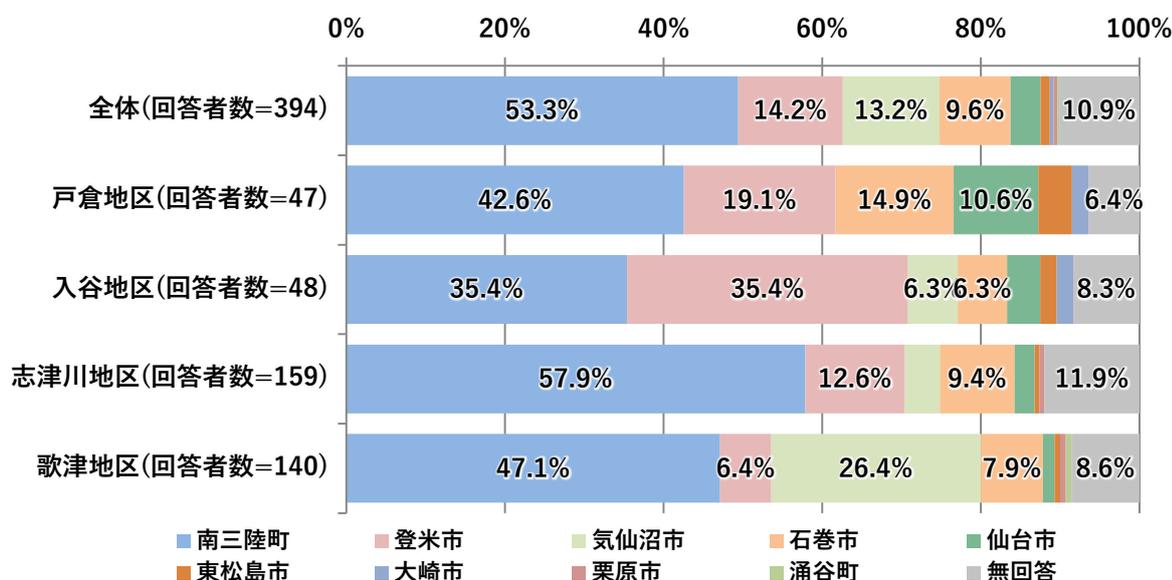


図 地区別の通院先の自治体

出典：町民アンケート調査結果

※地区未回答は非表示

※5.0%未満非表示

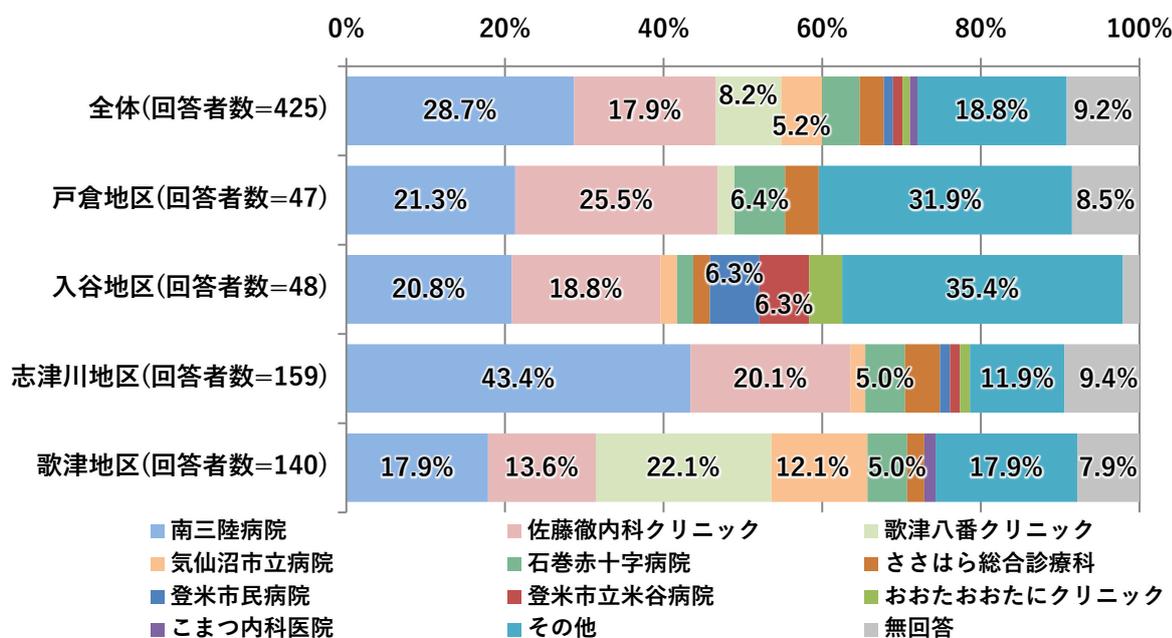


図 地区別の町内での通院先

出典：町民アンケート調査結果

※地区未回答は非表示

※5.0%未満非表示

1-1-4 南三陸町を取り巻く環境の変化

(1) 南三陸町役場がカーボンニュートラル賞を受賞

南三陸町役場庁舎（平成 29 年竣工）が令和 7 年 5 月 20 日に「第 13 回カーボンニュートラル賞東北支部」を受賞した。

カーボンニュートラル賞とは、平成 24 年に創設された、カーボンニュートラル社会の実現に向けた建築物、建築設備に関わる優れた業績を表彰することで、その意識の浸透と推進活性化を図ることが目的としている。



図 南三陸町役場（本庁舎）

出典：南三陸町 HP

1 - 2 公共交通の実態把握

1 - 2 - 1 道路網の整備状況

三陸自動車道と国道 45 号、国道 398 号が町内を東西に横断し、町民の生活を支える主要な道路となっている。

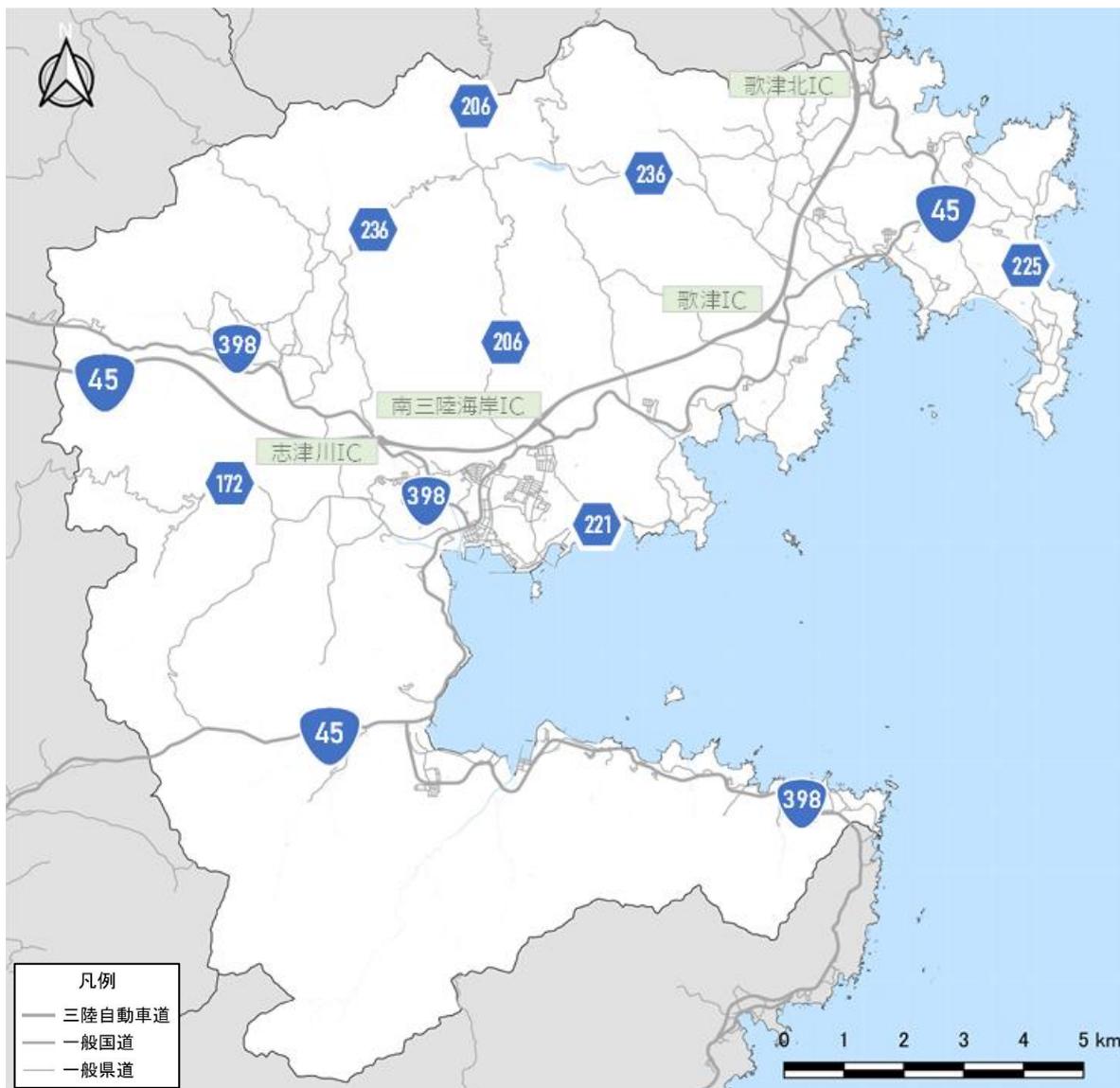


図 道路網

1-2-2 公共交通網の現状

本町の公共交通は、JR 気仙沼線 BRT と高速バス、南三陸乗合バス（町民バス、デマンドバス「SmartGOTO 南三陸」）、タクシーなどの公共交通機関が存在し、町民の日常的な移動手段となっている。

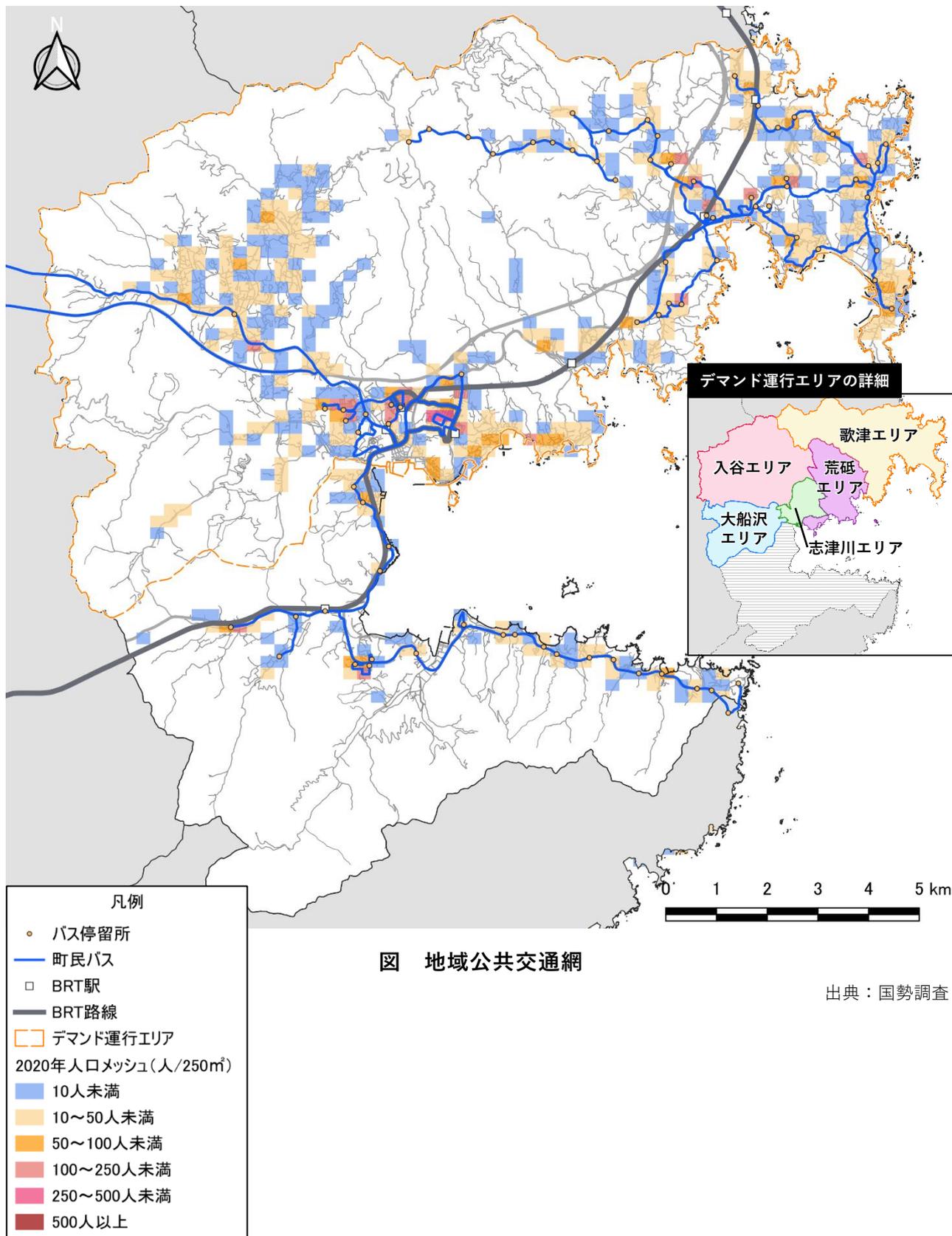


図 地域公共交通網

出典：国勢調査

表 地域公共交通の概要

公共交通機関	路線名	始点	終点	運行本数(便/日)				運行時間帯		運賃	運行事業者	
				平日		休日		始発	終着			
				上り	下り	上り	下り					
BRT	気仙沼線	気仙沼	柳津	9	9	9	9	陸前港発 5:38 (上り)	陸前港発 21:51 (下り)	志津川駅～気仙沼駅 : 770円	JR東日本	
		志津川駅～柳津駅 : 330円										
		歌津駅～気仙沼駅 : 590円										
		歌津駅～柳津駅 : 510円										
		本吉	柳津	1	1	1	1			志津川駅～本吉駅 : 330円		
		志津川駅～柳津駅 : 770円										
歌津駅～本吉駅 : 210円												
歌津駅～柳津駅 : 510円												
気仙沼	志津川	2	5	2	5	志津川駅～気仙沼駅 : 770円						
歌津駅～気仙沼駅 : 590円												
歌津駅～志津川駅 : 210円												
気仙沼	陸前戸倉	0	1	0	0	志津川駅～気仙沼駅 : 770円						
志津川駅～陸前戸倉駅 : 190円												
歌津駅～気仙沼駅 : 590円												
歌津駅～陸前戸倉 : 240円												
気仙沼	前谷地	5	5	5	5	志津川駅～気仙沼駅 : 770円						
志津川駅～前谷地駅 : 560円												
歌津駅～気仙沼駅 : 590円												
歌津駅～前谷地駅 : 740円												
陸前小泉	志津川	1	0	1	0	志津川駅～陸前小泉駅 : 240円						
歌津駅～陸前小泉駅 : 210円												
歌津駅～志津川駅 : 210円												
高速バス	仙台気仙沼線	県庁市役所前	南気仙沼駅	5	5	5	5	道の駅さんさん 南三陸発 7:03 (上り)	道の駅さんさん 南三陸発 21:04 (下り)	道の駅さんさん南三陸～ 仙台 (片道) : 1,900円	ミヤコーバス	
南三陸 乗合バス	戸倉線	神割観光プラザ	南三陸病院	4	4			6:50	17:43	戸倉、志津川、歌津地 区、町外 (登米市内) : 200円	歌津交通	
	荒町線	黒崎・日向	南三陸病院	1	1			7:11	17:38		志津川観光交通	
	泊浜線	泊浜集会所	歌津駅	2	2			7:25	17:35		歌津タクシー	
	港・名足 線	歌津駅	歌津北IC入口	1	2			7:45	16:49	志津川地区⇄戸倉地区 : 300円	歌津交通	
	葎の浜線	皿貝～ハマレ歌津		1				7:25	7:38			
			歌津駅～ハマレ歌津～歌津駅		1				15:25	15:58		
	弘川線	弘川	栴沢	1	2			7:14	17:37			
	志津川町 内巡回線	南三陸病院	南三陸高校 入口	3	3			8:42	17:03	志津川地区⇄町外 : 400円		
	志津川登 米線	南三陸病院	登米市役所	2	2			6:40	20:04			
	歌津地区			—	—			8:30	15:00終発			
入谷地区	デマンドバス (SmartGOTO南三陸)		—	—			7:30	17:30終発	8キロ未満 : 400円	志津川観光交通 歌津交通 歌津タクシー		
荒砥地区			—	—			8:30	17:30終発	8キロ以上 : 500円			

出典：JR 気仙沼線 BRT 時刻表 (気仙沼市 HP)、宮城交通 HP「高速バス_仙台-気仙沼・南三陸」
南三陸乗合バス時刻表 (南三陸町 HP)、SmartGOTO 南三陸

1-2-3 鉄道（BRT）の運行状況

(1) 運行概要

町内には、JR 気仙沼線 BRT の陸前戸倉駅、志津川駅、南三陸町役場・病院前駅、志津川中央団地駅、清水浜駅、歌津駅、陸前港駅の7つの駅が立地している。



図 BRT 路線図

出典：JR 東日本 HP

(2) 運行実績

町内に所在する駅の1日平均乗車人数をみると、すべての駅が減少傾向となっていたものの令和4年・令和5年には増加傾向に転じている。その後、令和6年には主要駅である志津川駅の乗車人数が大きく減少している。

JR 気仙沼線 BRT の平均通過人員の推移は、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響で減少したものの、令和4年には増加に転じており、令和6年には181人/日となっている。

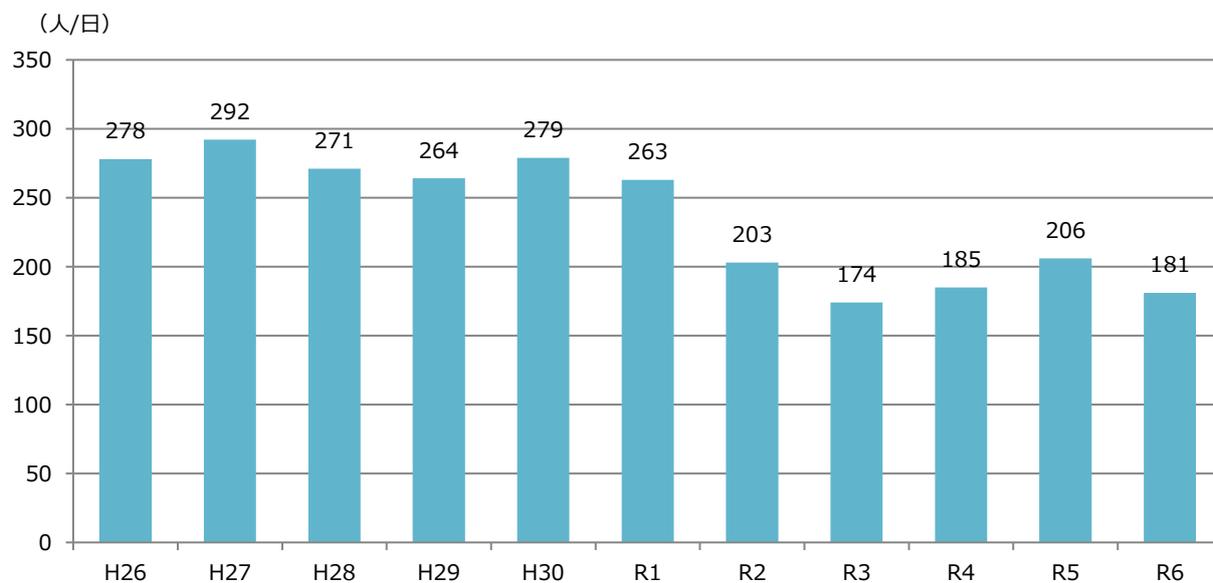


図 JR 気仙沼線 BRT の1日あたり平均通過人員の推移

出典：JR 東日本（柳津～気仙沼間 55.3km の実績）

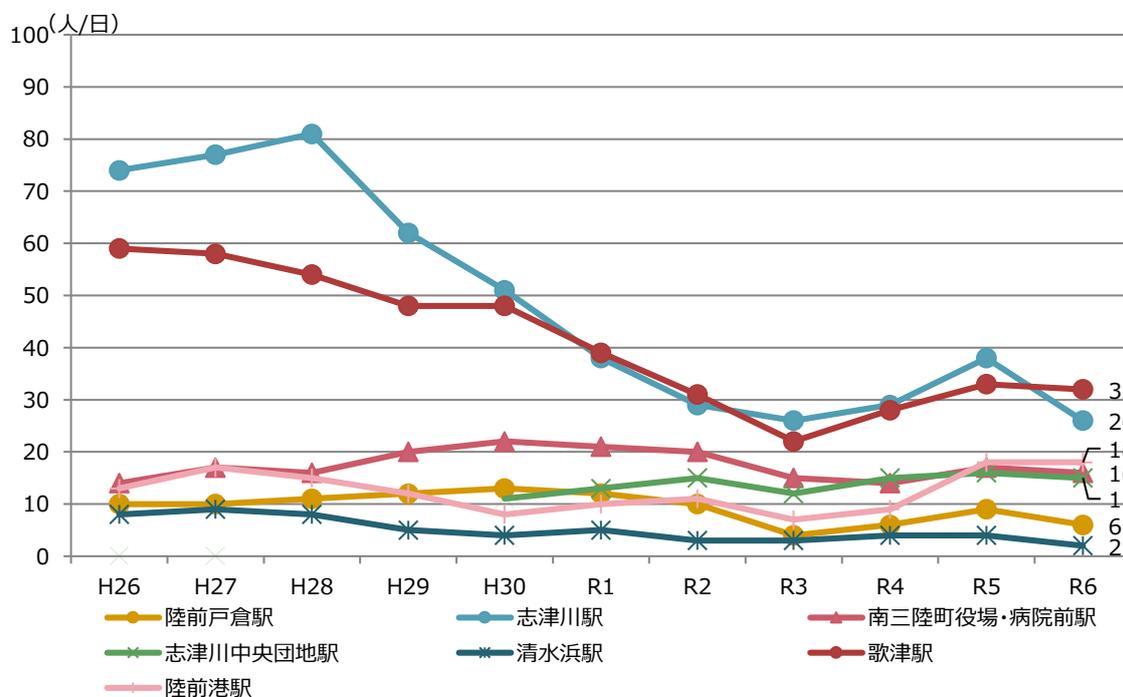


図 鉄道各駅の1日平均乗車人数の推移

※各年度の調査対象期間は同年4月から翌年3月までの1年間である。
 ※平成26年～平成29年の南三陸町役場・病院前駅データは、旧ベイサイドアリーナ駅のデータを使用。
 ※志津川中央団地駅は平成30年にできた駅のため、それ以前のデータはない。
 出典：南三陸町統計書（～令和4年）、JR 東日本（令和5年～）

1-2-4 南三陸乗合バスの運行状況

(1) 運行概要

町民バスは8路線が定時定路線で運行しているほか、デマンドバスが3地区（志津川地区（荒砥地区）、入谷・大船沢地区、歌津地区）で運行している。

運行は、町内事業者である(有)志津川観光交通、(株)歌津交通、歌津タクシーの3社へ委託している。

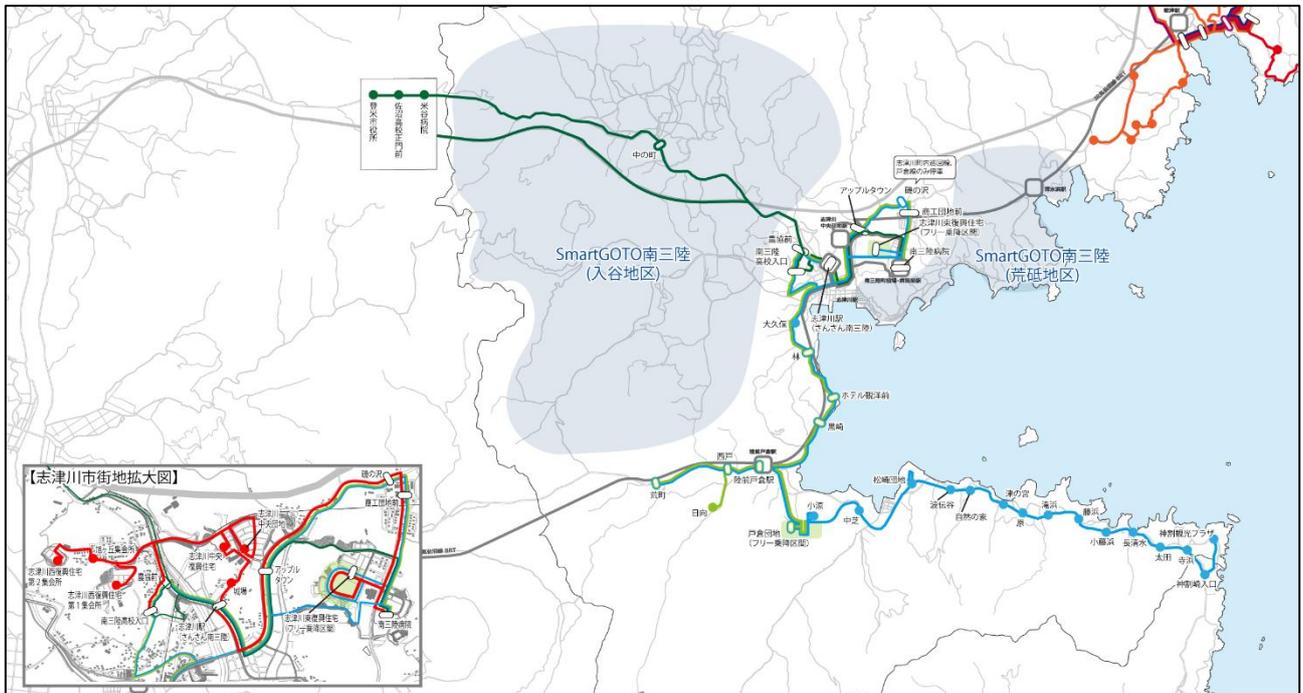


図 南三陸乗合バスの路線図【志津川地区】（令和7年2月時点）

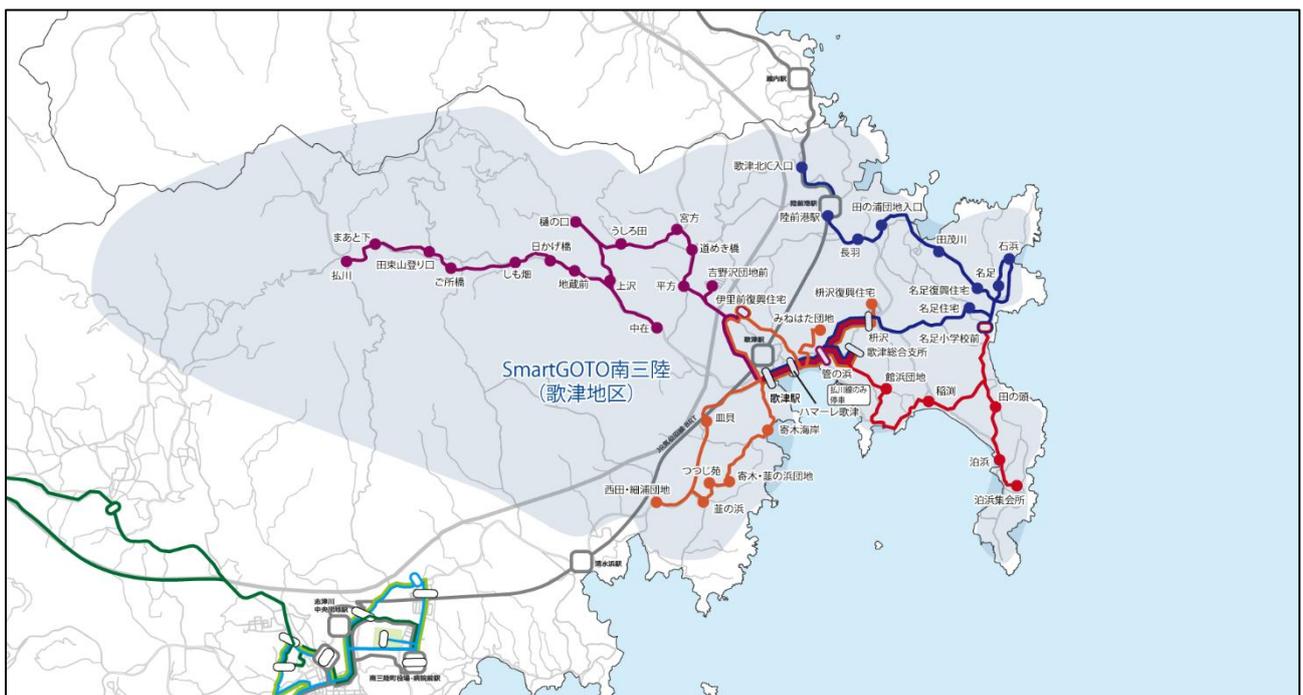


図 南三陸乗合バスの路線図【歌津地区】（令和7年2月時点）

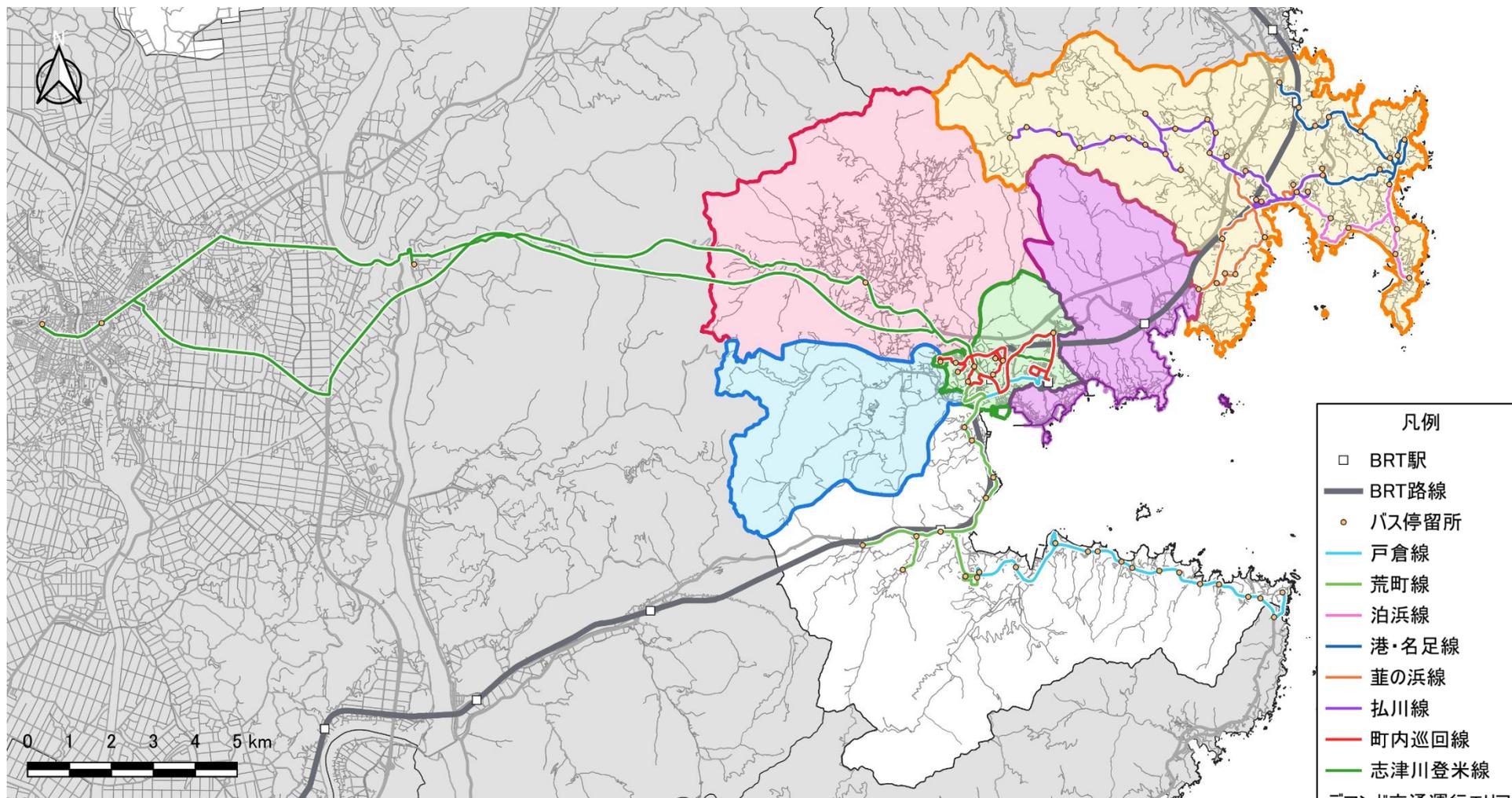


図 南三陸乗合バスの路線全体図（令和 7 年 2 月時点）

表 南三陸乗合バスの主な沿革

		沿革 (ダイヤ変更・便数の増減は除外)	路線	町民バス										SmartGOTO 南三陸				
				戸倉線	荒町線 (旧横山線)	泊浜線	港・名足線	荒砥線	葦の浜線	払川線	入谷線	大船沢線	志津川町内巡回線	志津川登米線	米谷線	町外仮設住宅循環線	入谷地区	歌津地区
2011	平成23年5月9日	・災害臨時バスとして運行開始 (運賃無料)	12路線															
2016	平成28年4月1日	・南三陸乗合バスとして運行開始 (運賃有料化)	12路線															
2018	平成30年4月2日	・「志津川登米線」の運行開始 ・「米谷線」「町外仮設住宅循環線」 の廃止	11路線															
2019	令和元年9月30日	・「戸倉線」の戸倉団地周辺にフリー 乗降区間を追加	11路線															
2020	令和2年10月5日	・「入谷線」の小森～舟川原間にフ リー乗降区間を追加	11路線															
2021	令和3年8月23日	・「町内巡回線」の志津川東復興住 宅周辺にフリー乗降区間を追加	11路線															
2022	令和4年4月4日	・「横山線」の横山ドライブイン～荒町 間を廃止 ・上記に伴い「横山線」を「荒町線」に 名称変更	11路線															
	令和4年10月1日	・BRT志津川駅の位置変更（道の 駅さんさん南三陸の供用開始）	11路線															
2023	令和5年7月3日	・SmartGOTO南三陸（入谷地 区）運行開始 ・SmartGOTO南三陸の運行に伴い 「入谷線」を運休	10路線 1地区															
	令和5年11月20日	・SmartGOTO南三陸（歌津地 区）運行開始 ・SmartGOTO南三陸の運行に伴い 「大船沢線」を運休 ・「入谷線」は引き続き運休	9路線 2地区															
2024	令和6年4月1日	・「入谷線」「大船沢線」は引き続き 運休	9路線 2地区															
2025	令和7年2月3日	・SmartGOTO南三陸（荒砥地 区）運行開始 ・SmartGOTO南三陸の運行に伴い 「荒砥線」を運休 ・「入谷線」「大船沢線」は引き続き 運休	8路線 3地区															

(2) 運行実績

① 年度別利用者数の推移

町民バスの年度別利用者数の推移は、平成29年に廃止した町外仮設住宅循環線を除き、利用者数は減少傾向となっている。令和4年には増加に転じたものの、以降は減少傾向となっている。

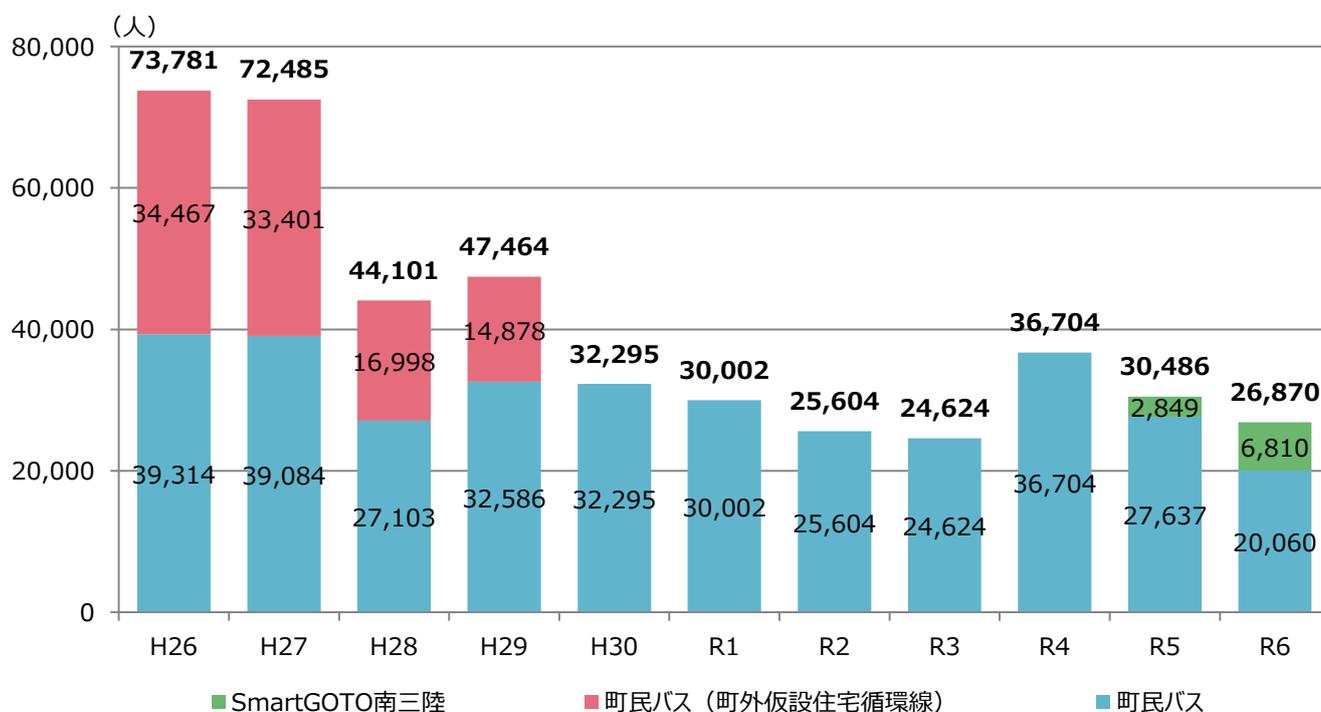


図 年度別利用者数の推移

出典：南三陸町

表 年度別の路線別利用者数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
戸倉線	9,260	9,024	6,181	8,571	8,076	8,218	6,827	5,807	10,788	9,964	8,065
荒町線	4,430	4,472	3,962	2,957	2,108	1,200	1,246	1,337	2,473	2,211	1,770
泊浜線	1,463	1,216	838	984	864	783	518	432	1,642	463	226
港・名足線	1,908	1,514	983	824	1,445	1,392	1,277	1,453	1,435	802	163
荒砥線	2,861	3,374	1,341	1,425	1,957	1,792	1,580	2,215	2,654	2,841	1,785
萁の浜線	763	851	708	610	409	401	203	175	3,506	1,372	980
弘川線	2,361	2,427	1,234	1,469	1,378	1,287	1,019	808	2,654	1,529	1,220
入谷線	7,242	6,892	4,870	7,806	7,021	5,582	4,771	4,241	4,783	1,107	—
大船沢線	3,698	3,297	2,699	1,733	1,766	1,814	1,647	1,482	1,076	600	—
志津川町内巡回線	3,917	4,731	3,180	4,243	4,080	3,197	3,127	2,025	1,727	1,982	2,419
米谷線	1,411	1,286	1,107	1,964	9	—	—	—	—	—	—
志津川登米線	—	—	—	—	3,182	4,336	3,389	4,649	3,966	4,766	3,432
町外仮設住宅循環線	34,467	33,401	16,998	14,878	—	—	—	—	—	—	—
SmartGOTO南三陸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,849	6,810
合計	73,781	72,485	44,101	47,464	32,295	30,002	25,604	24,624	36,704	30,486	26,870
乗合バス合計	73,781	72,485	44,101	47,464	32,295	30,002	25,604	24,624	36,704	27,637	20,060

出典：南三陸町

② 停留所別の利用状況

停留所別の1か月あたりの利用状況は、「南三陸病院」や「アップルタウン」、「佐沼高校正門前」など目的地となるバス停の利用が多いほか、「戸倉団地」や「志津川東復興住宅」などの住宅地の利用も多くみられた。

表 停留所別1か月あたりの利用状況（令和6年度）（1/2）

順位	バス停	R6別乗降者数(人/月)			割合	路線数	1路線あたり乗降者数
		乗車	降車	乗降者数			
1	戸倉団地(フリー乗降)	281	224	504.8	14.8%	2	252
2	南三陸病院	180	224	403.6	11.9%	5	81
3	アップルタウン	199	184	382.6	11.2%	4	96
4	佐沼高校正門前	101	160	260.7	7.7%	1	261
5	志津川駅(道の駅さんさん南三陸)	102	95	197.6	5.8%	5	40
6	荒町	91	106	196.6	5.8%	2	98
7	ハマレ歌津	32	127	159.0	4.7%	4	40
8	南三陸高校入口	51	88	139.3	4.1%	4	35
9	志津川東復興住宅(フリー乗降)	61	76	137.0	4.0%	3	46
10	波伝谷	33	32	64.3	1.9%	1	64
11	神割崎入口	39	19	58.2	1.7%	1	58
12	商工団地前	26	27	52.5	1.5%	4	13
13	樋の口	40	5	45.0	1.3%	1	45
14	寺浜	20	23	43.3	1.3%	1	43
15	志津川西復興住宅第1集会所	22	20	41.6	1.2%	1	42
16	自然の家	10	28	37.9	1.1%	1	38
17	大久保	16	20	36.0	1.1%	1	36
18	中の町	22	13	35.5	1.0%	1	36
19	歌津駅	2	32	34.1	1.0%	4	9
20	日向	31	0	30.6	0.9%	1	31
21	寄木・葦の浜団地	29	1	30.4	0.9%	1	30
22	西田・細浦団地	30	0	30.1	0.9%	1	30
23	ホテル観洋前	11	17	28.3	0.8%	2	14
24	宮方	18	9	27.1	0.8%	1	27
25	津の宮	9	17	25.0	0.7%	1	25
26	林	18	6	23.8	0.7%	2	12
27	登米市役所	17	7	23.8	0.7%	1	24
28	いこいの海・あらと前	14	9	23.3	0.7%	1	23
29	旭ヶ丘集会所	14	8	21.8	0.6%	1	22
30	農協前	19	2	20.9	0.6%	2	10
31	葦の浜	9	12	20.8	0.6%	1	21
32	志津川中央復興住宅	9	12	20.4	0.6%	1	20
33	清水団地	12	7	18.6	0.5%	1	19
34	荒砥漁港前	8	9	17.8	0.5%	1	18
35	太田	11	6	17.2	0.5%	1	17
36	名足小学校前	3	13	16.6	0.5%	2	8
37	志津川西復興住宅第2集会所	9	4	13.3	0.4%	1	13
38	弘川	12	0	11.8	0.3%	1	12
39	城場	7	5	11.3	0.3%	1	11
40	黒崎	7	4	11.3	0.3%	2	6
41	泊浜集会所	10	1	10.9	0.3%	1	11
42	大森	7	4	10.7	0.3%	1	11
43	西戸	0	11	10.5	0.3%	1	11
44	伊里前復興住宅	8	2	10.3	0.3%	2	5
45	陸前戸倉駅	5	5	9.9	0.3%	2	5

表 停留所別 1 か月あたりの利用状況（令和 6 年度）（2/2）

順位	バス停	R6別乗降者数(人/月)			割合	路線数	1路線あたり乗降者数
		乗車	降車	乗降者数			
46	名足住宅	6	0	6.3	0.2%	1	6
46	神割観光プラザ	5	1	6.3	0.2%	1	6
48	地藏前	5	0	5.4	0.2%	1	5
49	志津川中央団地	3	2	5.4	0.2%	1	5
50	中芝	4	1	5.3	0.2%	1	5
51	泊浜	4	1	5.2	0.2%	1	5
52	原	3	2	5.0	0.1%	1	5
53	枹沢	1	4	4.3	0.1%	4	1
54	名足復興住宅	4	0	4.3	0.1%	1	4
55	小涼	3	1	3.4	0.1%	1	3
56	細浦入口	2	2	3.4	0.1%	1	3
57	田の浦団地入口	0	2	2.7	0.1%	1	3
58	松崎団地	2	1	2.7	0.1%	1	3
59	館浜団地	1	1	2.0	0.1%	1	2
60	袖浜集会所	1	1	1.9	0.1%	1	2
61	米谷病院	0	2	1.8	0.1%	1	2
62	歌津総合支所	1	1	1.5	0.0%	4	0
63	磯の沢	0	1	1.3	0.0%	2	1
64	袖浜	0	1	1.1	0.0%	1	1
65	藤浜	0	1	1.1	0.0%	1	1
66	田の頭	1	0	0.9	0.0%	1	1
67	平磯集会所	1	0	0.9	0.0%	1	1
68	小藤浜	1	0	0.8	0.0%	1	1
69	上沢	0	1	0.8	0.0%	1	1
69	長清水	0	1	0.8	0.0%	1	1
71	名足	1	0	0.5	0.0%	1	1
72	日かげ橋	0	0	0.4	0.0%	1	0
72	平方	0	0	0.4	0.0%	1	0
74	うしろ田	0	0	0.3	0.0%	1	0
74	皿貝	0	0	0.3	0.0%	1	0
76	道めき橋	0	0	0.2	0.0%	1	0
76	滝浜	0	0	0.2	0.0%	1	0
78	清水浜駅前	0	0	0.1	0.0%	1	0
79	管の浜	0	0	0.1	0.0%	1	0
80	稲渚	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	歌津北IC入口	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	ご所橋	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	志津川中学校前	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	しも畑	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	田東山登り口	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	田茂川	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	つつじ苑	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	中在	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	長羽	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	まあと下	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	みねはた団地	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	寄木海岸	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	吉野沢団地前	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	石浜	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	陸前港駅	0	0	0.0	0.0%	1	0
80	枹沢復興住宅	0	0	0.0	0.0%	1	0

③ 南三陸乗合バスの収支状況

町民バスの収支状況の推移は、費用が増加傾向となっており、令和5年にはデマンドバス「SmartGOTO 南三陸」の運行開始したことにより大幅な増加がみられた。一方、収支率は微増の傾向がみられていたものの、令和5年には減少に転じ、以降は減少傾向が続いている。

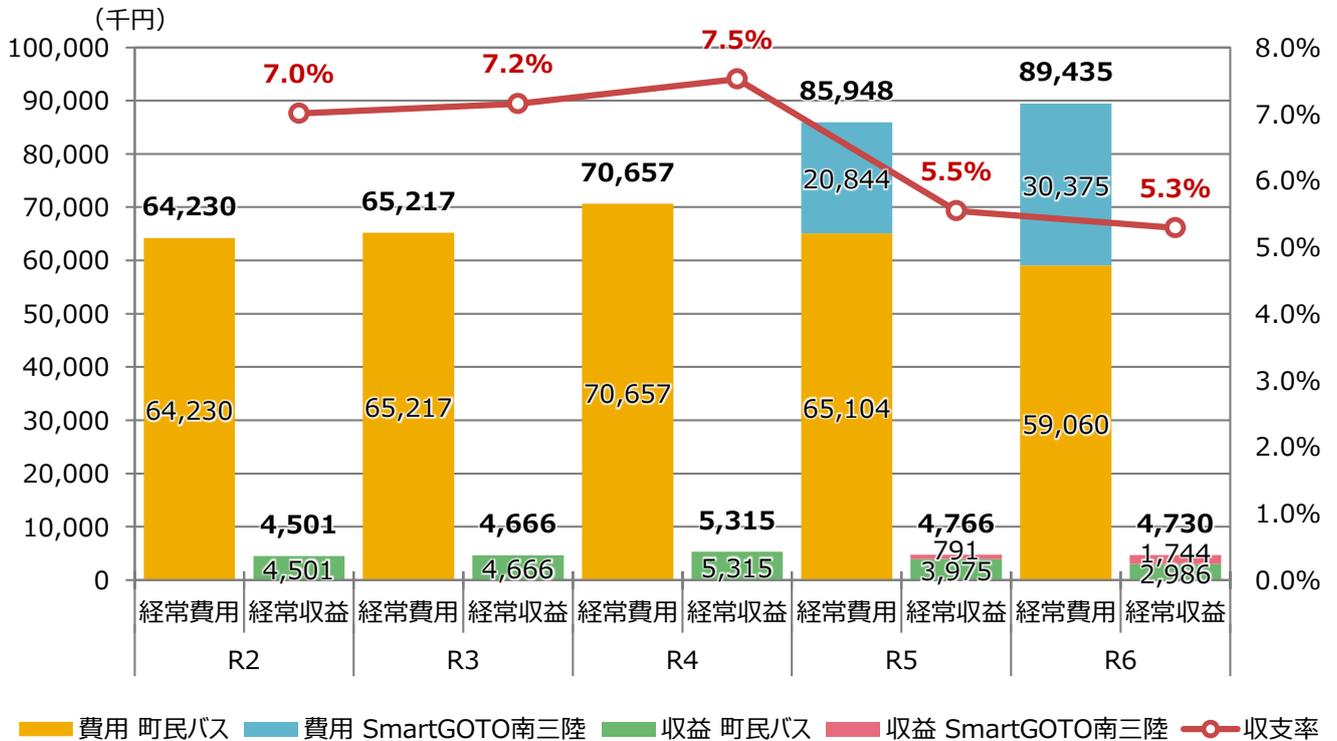


図 南三陸乗合バスの収支状況

出典：南三陸町

1-2-5 一般タクシーの運行状況

町内で営業しているタクシー事業者は、歌津タクシーと有限会社志津川観光交通の 2 社となっている。

タクシーの台数は、2 社合わせて、ジャンボタクシーが 5 台、普通タクシーが 7 台となっている。

表 タクシー事業者の概要

社名	所在地	車両台数（台）	
		ジャンボ	普通
歌津タクシー	歌津字町向 46-1	2	2
有限会社志津川観光交通	志津川字沼田 150-148	3	5

出典：一般社団法人宮城県タクシー協会 HP

1-2-6 その他の送迎サービスの運行状況

町内には、公共交通と比べて利用対象が明確に設定されている移動サービスとして、宿泊施設利用者を対象とした施設送迎バスや、町内に居住する小中学生を対象としたスクールバスなどが運行されている。

これらの移動サービスは、利用者に応じた細かな需要に対応しており、観光二次交通や通学時の移動手段を担っている。

(1) 施設送迎バスの運行状況

町内の宿泊施設へ送迎サービスが運行されており、町内外から宿泊施設までの移動手段となっている。

表 施設送迎バスの運行概要

区分	運行主体	備考
宿泊施設送迎バス	南三陸ホテル観洋	・仙台駅・陸前戸倉駅から施設まで送迎 ・運賃は無料
	民宿 下道荘	・団体客のみ送迎 ・町内から：無料、町外から：有料
	民宿 清観荘	・歌津駅から施設まで送迎
	農漁家民宿 未希の家	・くりこま高原駅や登米市内、町内の最寄り駅などから施設まで送迎

出典：南三陸観光ポータルサイト HP

(2) スクールバスの運行状況

本町は、居住地が分散しているため、一部の小学校及び中学校においてスクールバスが運行されている。

また、スクールバスを運行していない小学校及び中学校への通学については、町民バスのスクール対応便を利用して通学している。

表 通学時の移動手段

学校名	スクールバス	町民バス
町立志津川小学校	2 コース	なし
町立戸倉小学校	1 コース	戸倉線、荒町線
町立入谷小学校	1 コース	なし
町立伊里前小学校	なし	払川線、葦の浜線
町立名足小学校	なし	泊浜線、港・名足線
町立志津川中学校	3 コース	なし
町立歌津中学校	なし	払川線、葦の浜線

出典：過年度関係者ヒアリング調査結果、各学校 HP

1-2-7 公共交通空白地の状況

南三陸町は、概ね全域が公共交通圏域でカバーされており、町民の約4割がBRT、約5割が町民バス、約9割がデマンドバスの公共交通利用可能地域に居住がみられた。令和5年7月にデマンドバスの運行が開始されて以降、年々運行エリアが拡大しており、公共交通カバー率は大幅に向上されている。

ただし、戸倉地区では一部カバーされていない地域がみられるものの、いずれも人口が比較的少ない地域となっている。

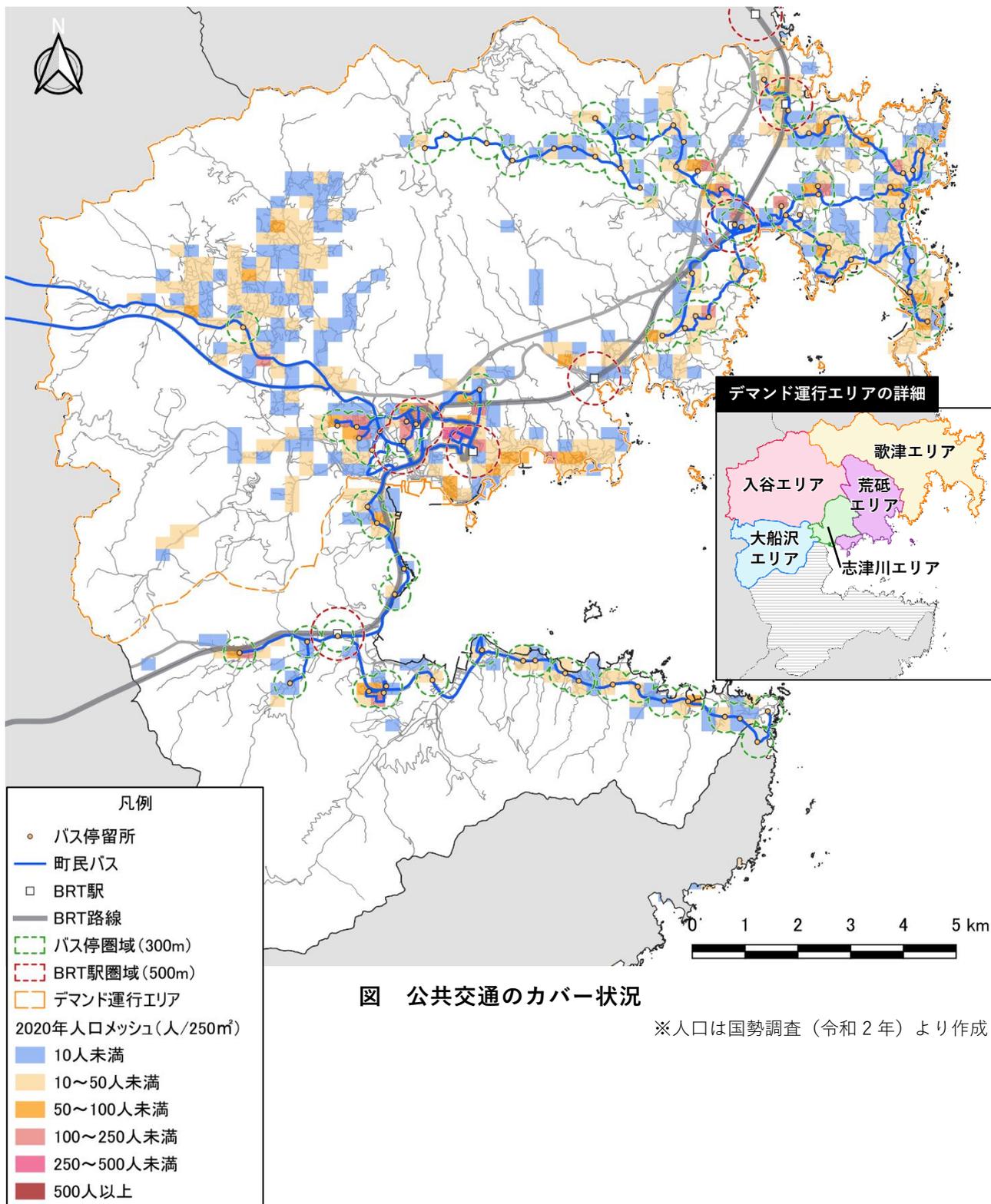


表 公共交通のカバー率及び交通空白地の状況

区分	公共交通カバー圏域		公共交通空白地域	
	人口(人)	割合	人口(人)	割合
南三陸町の総人口	12,225	100.0%	—	—
BRTが利用しやすい圏域 (BRT駅圏域500m)	1,915	15.7%	10,310	84.3%
町民バスが利用しやすい圏域 (バス停圏域300m)	5,887	48.2%	6,338	51.8%
デマンドバスが 利用しやすい圏域(運行エリア)	10,632	87.0%	1,593	13.0%
公共交通が利用しやすい圏域	12,014	98.3%	211	1.7%

表 地区別の公共交通のカバー率及び交通空白地の状況

地区	総人口 (人)	公共交通利用可能地域		公共交通空白地域	
		人口(人)	割合	人口(人)	割合
戸倉地区	1,593	1,308	82.1%	285	17.9%
入谷地区	2,223	2,223	100.0%	0	0.0%
志津川地区	4,229	4,229	100.0%	0	0.0%
歌津地区	4,167	4,093	98.2%	74	1.8%
南三陸町全体	12,225	12,031	98.4%	194	1.6%

表 公共交通別のカバー状況

区分	総人口	15歳未満	15~64歳	65歳以上
南三陸町の総人口	12,225 (100.0%)	1,124 (100.0%)	6,387 (100.0%)	4,707 (100.0%)
公共交通利用可能地域	11,940 (97.7%)	1,110 (98.8%)	6,250 (97.9%)	4,641 (98.6%)
BRT駅圏域(500m)	1,915 (15.7%)	211 (18.8%)	1,002 (15.7%)	683 (14.5%)
南三陸町乗合バス圏域	11,936 (97.6%)	1,108 (98.6%)	6,244 (97.8%)	4,636 (98.5%)
バス停圏域 (300m)	5,887 (48.2%)	570 (50.7%)	3,238 (50.7%)	2,270 (48.2%)
デマンド交通圏域 (エリア)	10,632 (87.0%)	983 (87.5%)	5,574 (87.3%)	4,068 (86.4%)

※総人口は国勢調査(令和2年)より作成
 ※GISを使用して集計しているため、実際の人口とは合わない場合がある

1-2-8 財政負担の状況

公共交通にかかる町の財政負担額は、令和3年までは約6千万円で横ばいの傾向であったが、デマンドバス「SmartGOTO 南三陸」の運行が開始した令和5年以降は増加傾向がみられ、令和6年には約1億円にまで増加している。

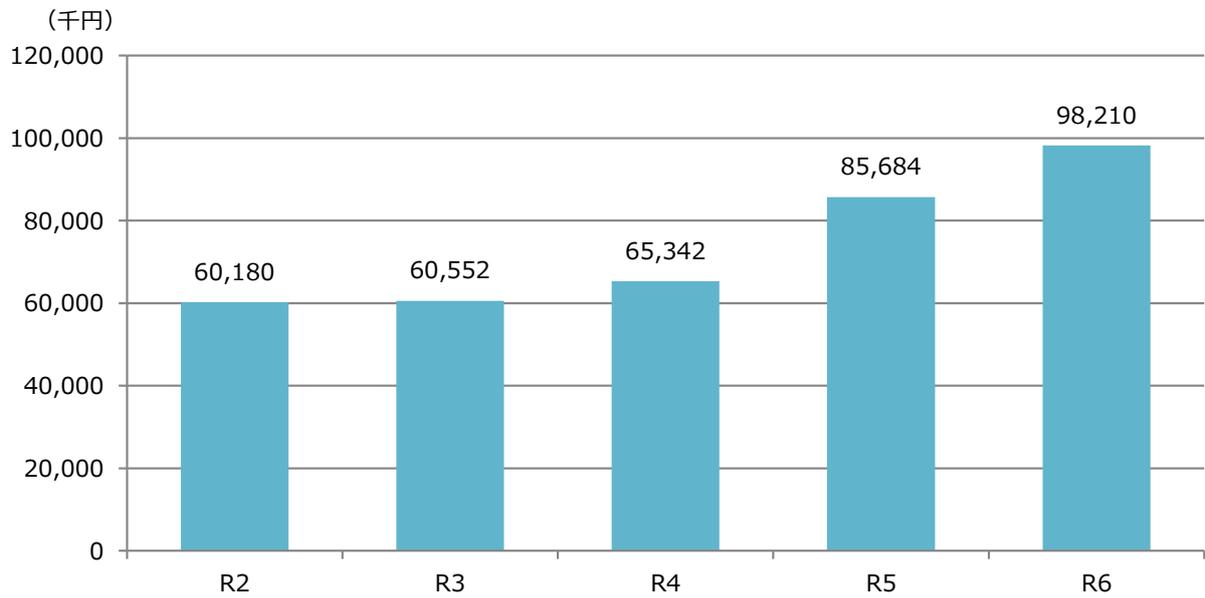


図 公共交通にかかる財政負担の推移

出典：南三陸町

2.公共交通に関する実態・ニーズ把握調査

2-1 町民アンケート調査（町実施）

2-1-1 調査概要

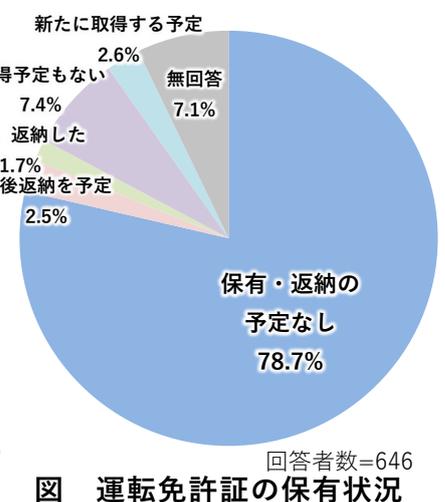
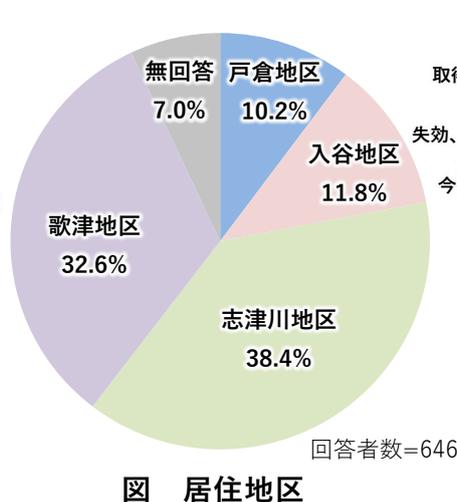
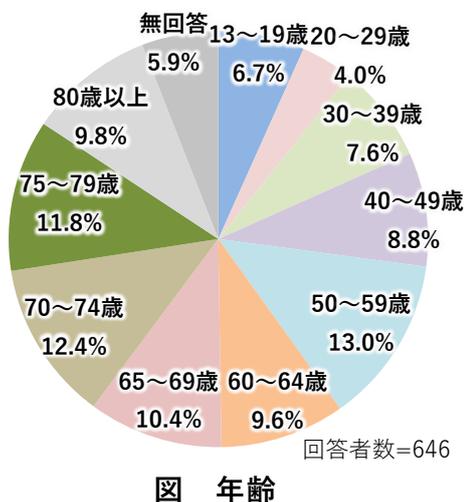
表 町民アンケート調査の調査概要

項目	概要
調査の目的	町民における外出目的ごとの移動特性や公共交通の利用実態および意見・意向などを把握
調査の対象	13歳以上 90歳以下の男女 ※無作為抽出
調査期間	令和7年6月21日～令和7年7月4日
配布票数	郵送配布、郵送・WEB回収
回収票数	2,000票
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院、通学など、日常生活での移動実態 ・公共交通の利用実態 ・公共交通に対する評価 ・公共交通への関わり方 ・地域の公共交通として求められる取り組み ・回答者の基本属性

2-1-2 調査結果

(1) 回答者の基本属性

- ・回答者の年齢をみると、「50～59歳」が13.0%（84人）で最も高く、次いで「70～74歳」が12.4%（80人）と続いており、高齢者（65歳以上）が約4割を占めている。
- ・回答者の居住地をみると、「志津川地区」が38.4%（248人）で最も高く、次いで「歌津地区」が32.7%（211人）と続いている。
- ・回答者の免許証保有状況をみると、「保有・返納の予定なし」が78.6%（508人）で最も高く、次いで「取得予定もない」が7.4%（48人）と続いている。免許証を保有している方が約8割を占めている。



(2) 日々の買い物を目的とした外出

①買い物の目的地

- ・約9割(599人)が買い物を目的とした外出をしていると回答。
- ・南三陸町内での買い物の目的地は、全ての地区で「アップルタウン」が約8割を占めている。また、「その他」では、「薬王堂」や「コンビニ」との回答がみられた。

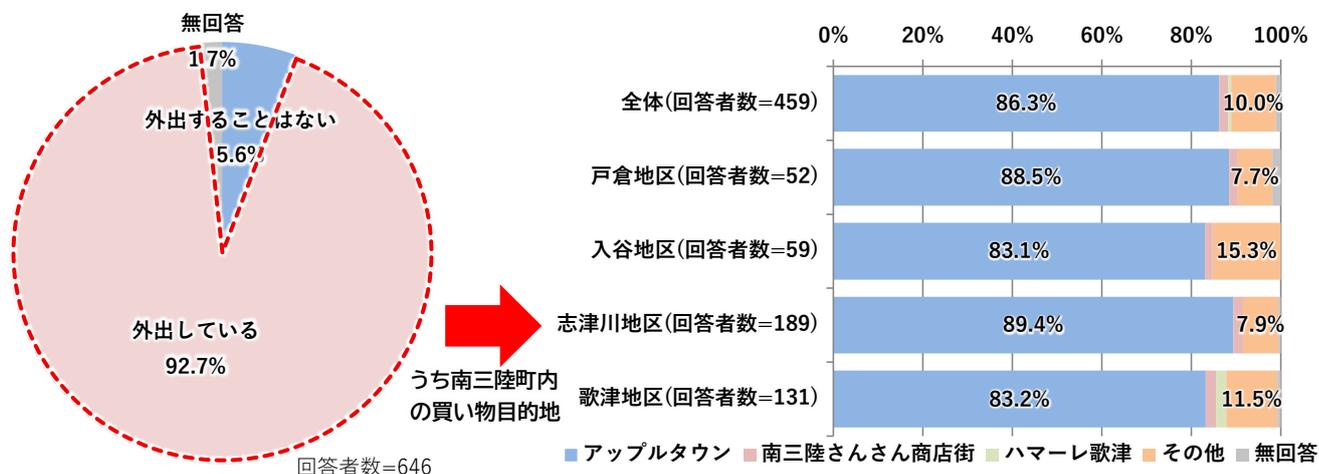


図 買い物を目的とした外出の有無

図 地区別の南三陸町内での買い物の目的地

※地区未回答は非表示

②買い物先への移動手段

- ・買い物先への移動手段は、全ての地区で多くの方が「自家用車」で通院すると回答しており、公共交通の利用割合は全体的に低い傾向にある。

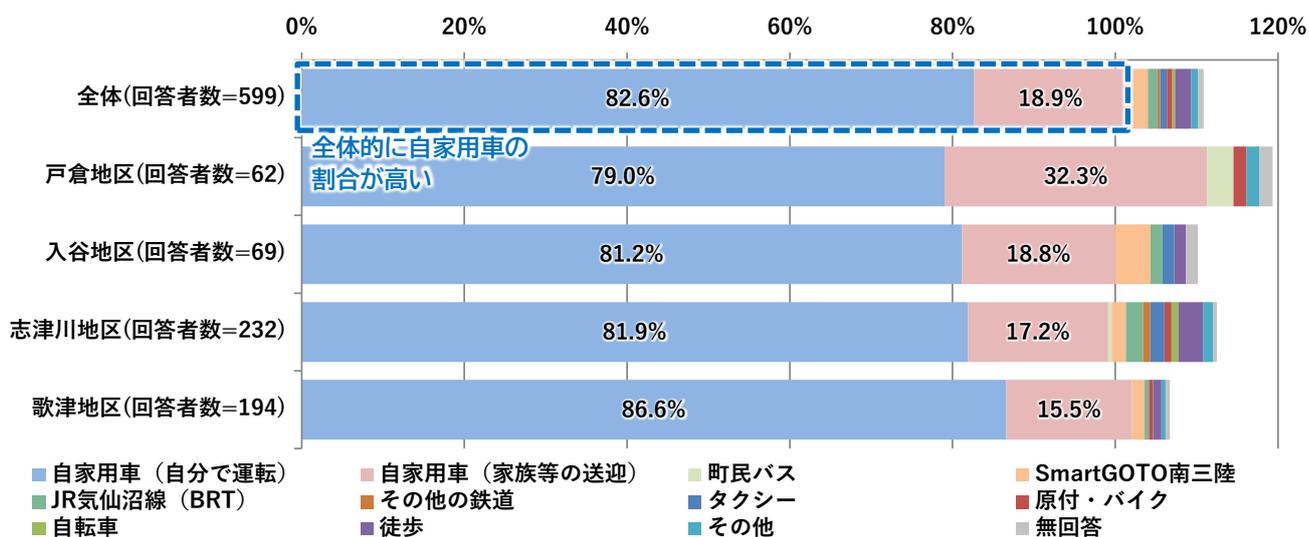


図 地区別の買い物先への移動手段

※地区未回答は非表示

(3) 定期的な通院を目的とした外出

①通院の目的地

- ・約7割(425人)が定期的な通院を目的とした外出をしていると回答。
- ・通院の目的地は、全体的に「南三陸病院」が多く、特に「志津川地区」では約4割を占めている。また、「佐藤徹内科クリニック」も多くみられたほか、「歌津地区」では「歌津八幡クリニック」との回答がみられた。

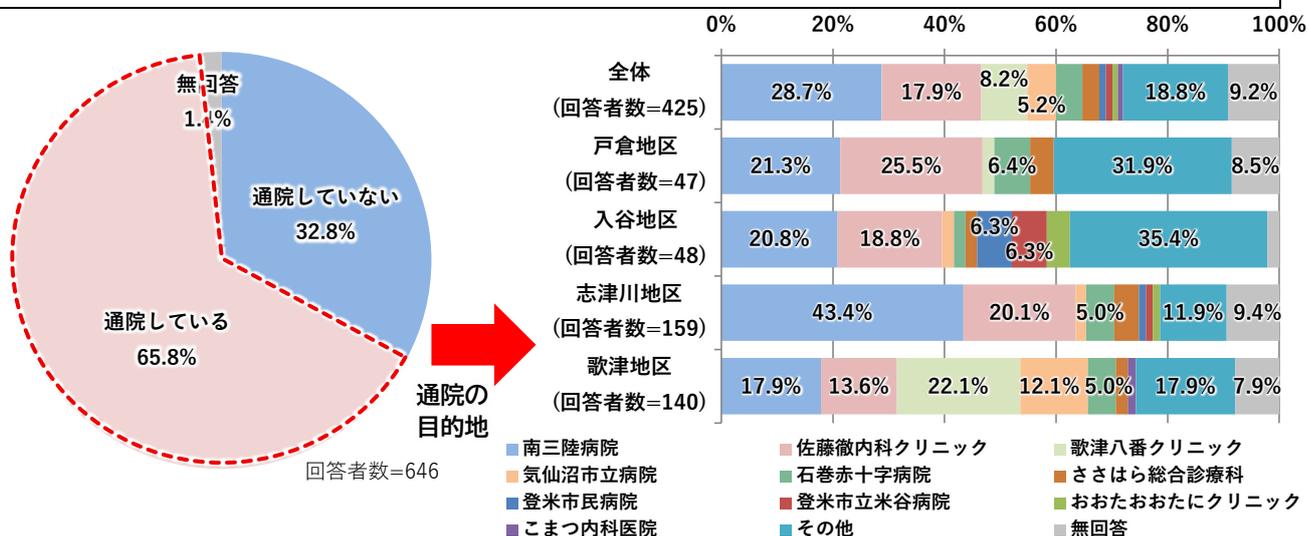


図 通院を目的とした外出の有無

図 地区別の通院先の目的地

※地区未回答は非表示

②通院先への移動手段

- ・通院先への移動手段は、全ての地区で多くの方が「自家用車」で通院すると回答しており、公共交通の利用割合は全体的に低い傾向にある。

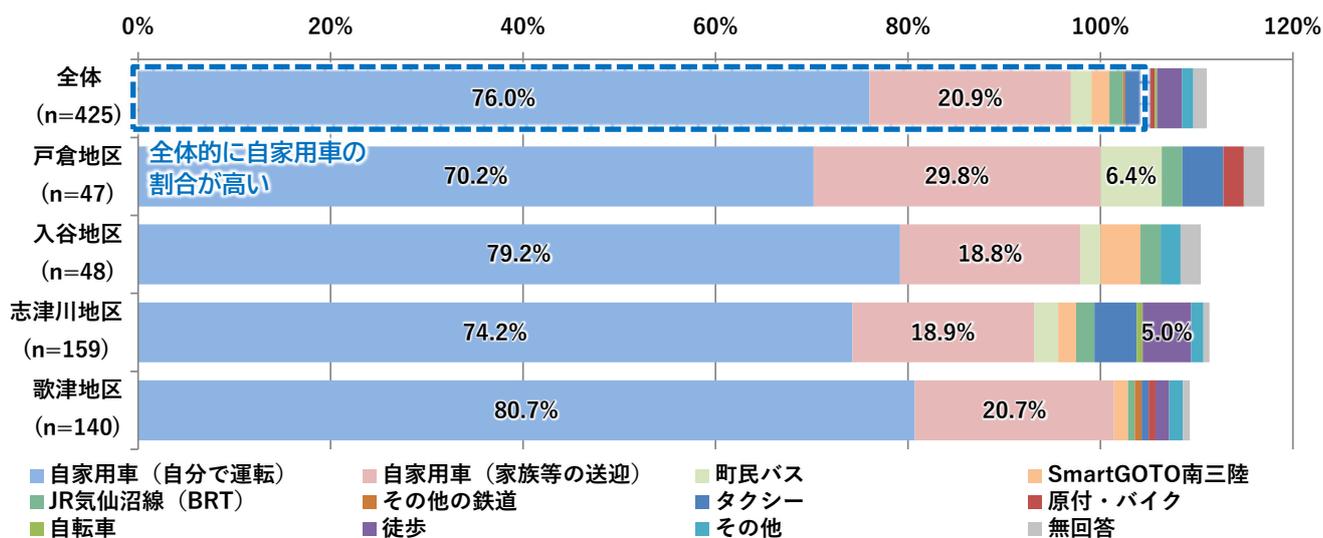


図 地区別の通院先への移動手段

※地区未回答は非表示

(4) 通学を目的とした外出

①通学の目的地

- ・約1割(45人)にも満たない方が通学を目的とした外出をしていると回答。
- ・通学の目的地は、全体的に「南三陸高等学校」が多くなっているほか、「戸倉地区」では「志津川中学校」が、「歌津地区」では「歌津中学校」との回答が多くみられた。

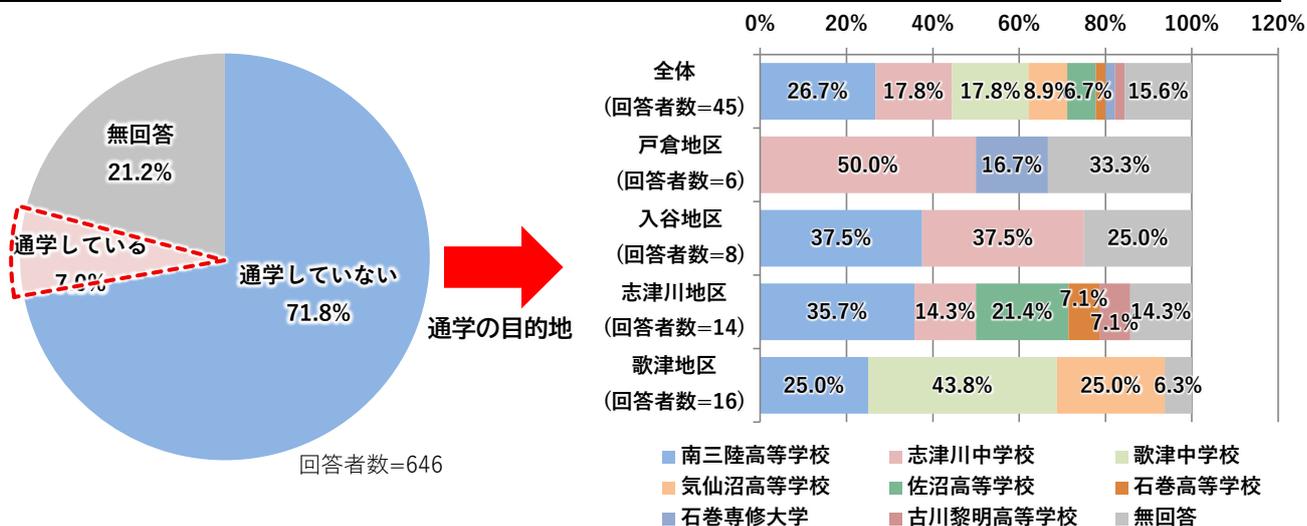


図 通学を目的とした外出の有無

図 地区別の通学先の目的地

※地区未回答は非表示

②通学先への移動手段

- ・通学先への移動手段は、全ての地区で多くの方が「自家用車による送迎」で学校へ向かうと回答。
- ・公共交通の利用割合は、全体的に「JR 気仙沼線 (BRT)」が多く、特に「歌津地区」では約3割を占めている。また、「戸倉地区」では「スクールバス」の割合が他地域よりも比較的高い。
- ・「入谷地区」では「自転車」、「志津川地区」「歌津地区」では「徒歩」の割合が他地域より比較的高く、徒歩・自転車圏内に立地する通学先へ向かう方が多いと想定される。

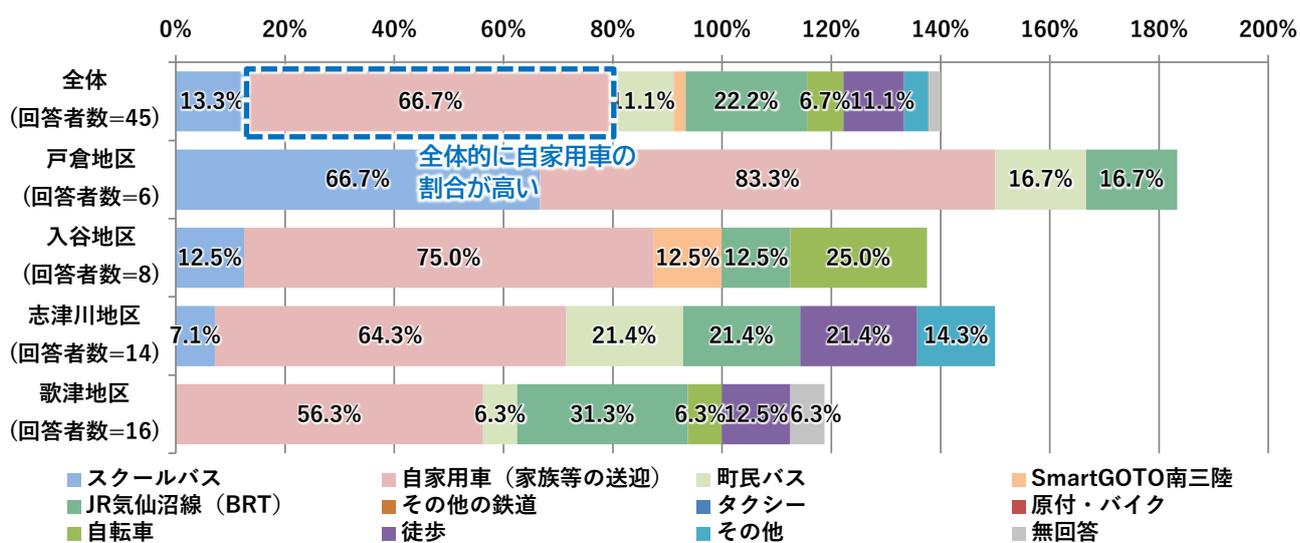


図 地区別の通学先への移動手段

※地区未回答は非表示

(5) 公共交通の利用実態・イメージ

①運行状況（ルート、ダイヤなど）を認知している公共交通サービス

- ・運行状況を認知しているサービスは、「JR 気仙沼線（BRT）」が 36.8%（238 人）で最も高く、次いで「南三陸乗合バス」が 29.9%（193 人）と続いている。
- ・平成 29 年度に実施した結果と比較すると、「南三陸乗合バス」が 0.9pt、「JR 気仙沼線（BRT）」が 8.2pt 増加しており、情報提供や周知状況が向上されたと想定される。

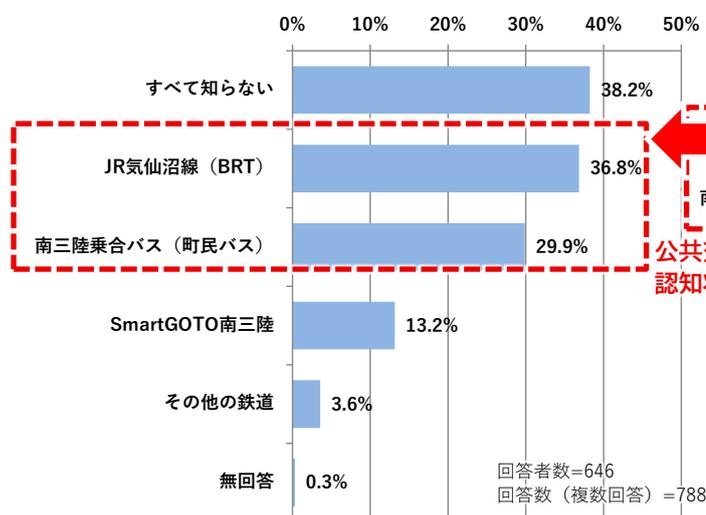


図 運行状況を認知している公共交通サービス

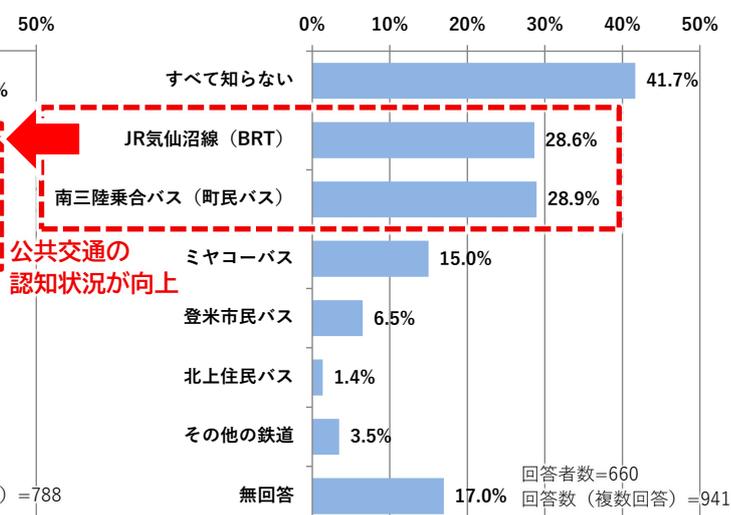


図 運行状況を認知している公共交通サービス（平成 29 年度調査結果）

②最寄りバス停

- ・最寄りバス停は、約 5 割の方が「ある」と回答。自宅から最寄りバス停の距離をみると「101～300m」が 13.3%（86 人）で最も多く、次いで「100m 以内」が 11.8%（76 人）と続いている。
- ・「南三陸病院」を最寄りのバス停と認識している方が 6.8%（22 人）と最も多い。

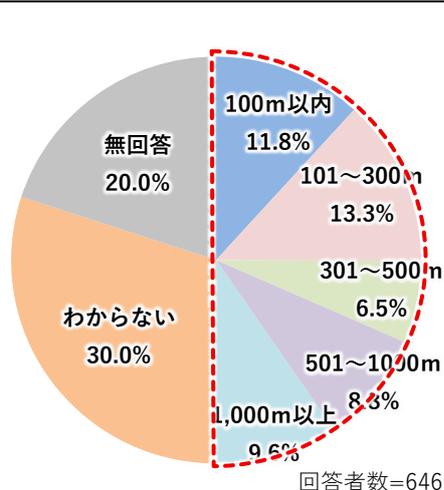


図 自宅から最寄りバス停までの距離

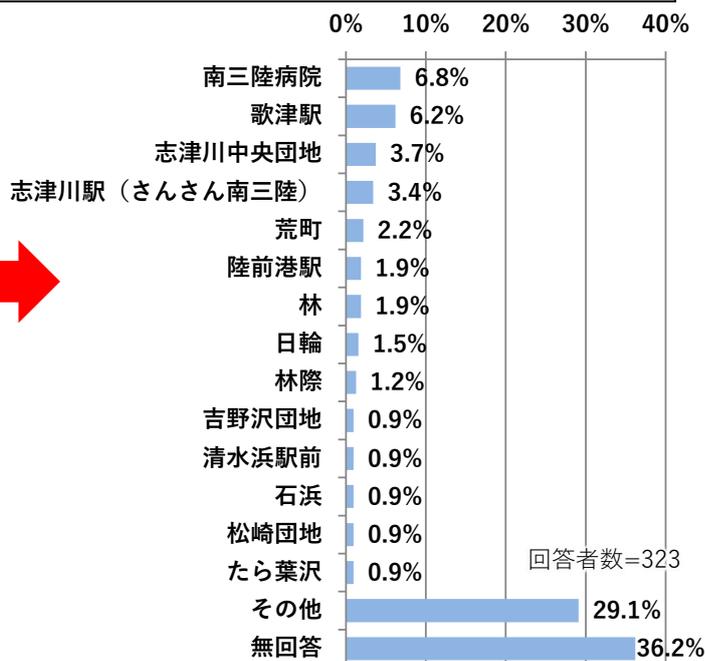


図 最寄りのバス停

③自宅⇄最寄りバス停間の勾配状況

- ・自宅から最寄りバス停までの間に勾配（坂道）坂道が「ある」と回答された方は約6割を占める。
- ・勾配に対しては、全体的に「特に困っていない」と回答された方が多くみられた一方で、「歩行がづらい、悪天候時に危険を感じる」「負担が大きいと感じる」と回答された方は約5割を占めている。
- ・坂道を理由に公共交通利用をためらった経験は「全くない」と回答された方が約4割を占める。
- ・勾配がない場合の公共交通の利用意向は、「利用したい」が6.3%（41人）となっている。

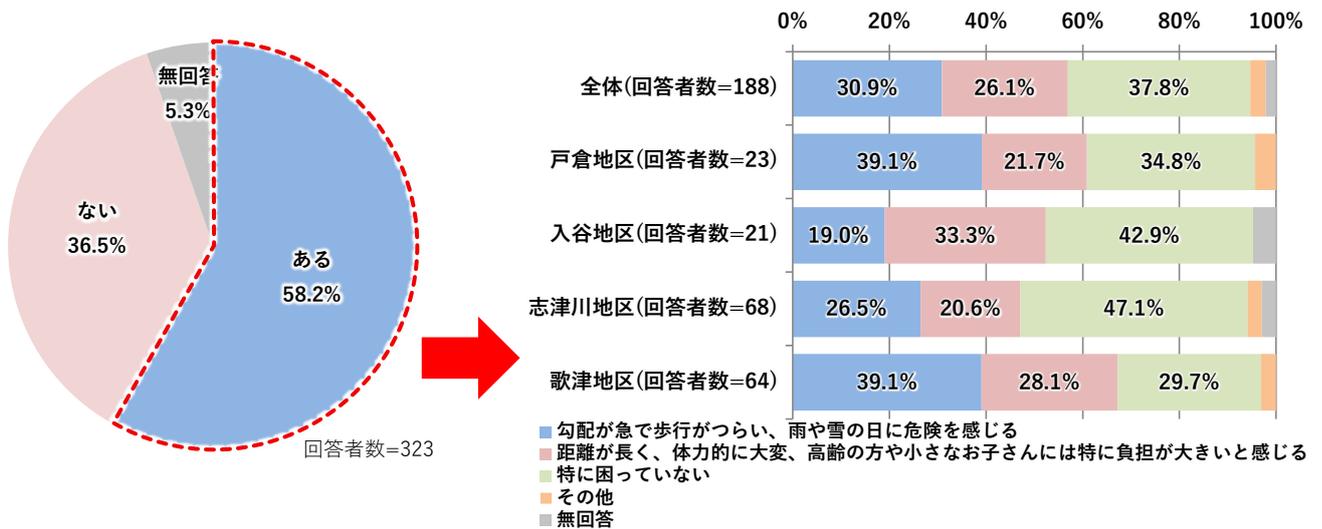


図 勾配の有無

図 地区別の勾配状況

※地区未回答は非表示

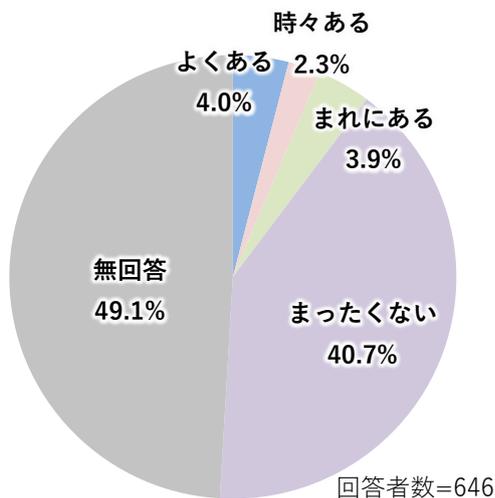


図 坂道を理由に公共交通の利用をためらった経験の有無

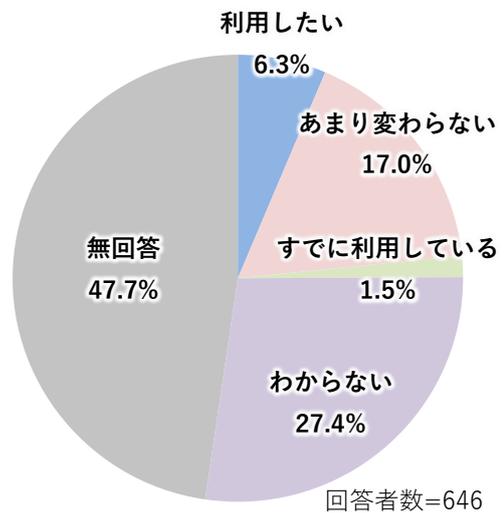


図 勾配がない場合の公共交通の利用意向

(6) 公共交通に対する満足度・重要度

① 町民バスに対する評価

- ・「運行時間帯」は、最も重要度が高くなっているが、満足度が低い状況。
- ・また、「乗り継ぎ時間」や、「バス停での待合環境」に対する満足度も低くなっており、時間帯に対する不満が多くみられた。

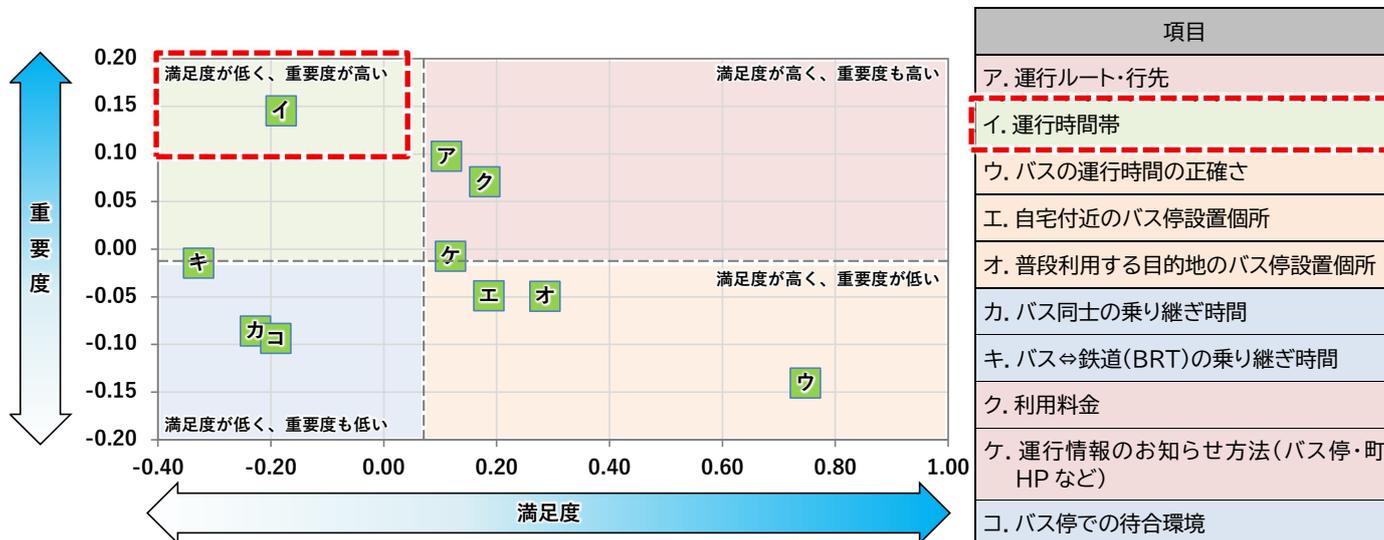


図 町民バスに対する評価

② SmartGOTO 南三陸に対する評価

- ・「運行範囲」と「運行時間帯」は、重要度が高くなっているが、満足度が低い状況。
- ・また、「乗降場所での待合環境」に対する満足度も低くなっており、運行内容に対する不満が多くみられた。

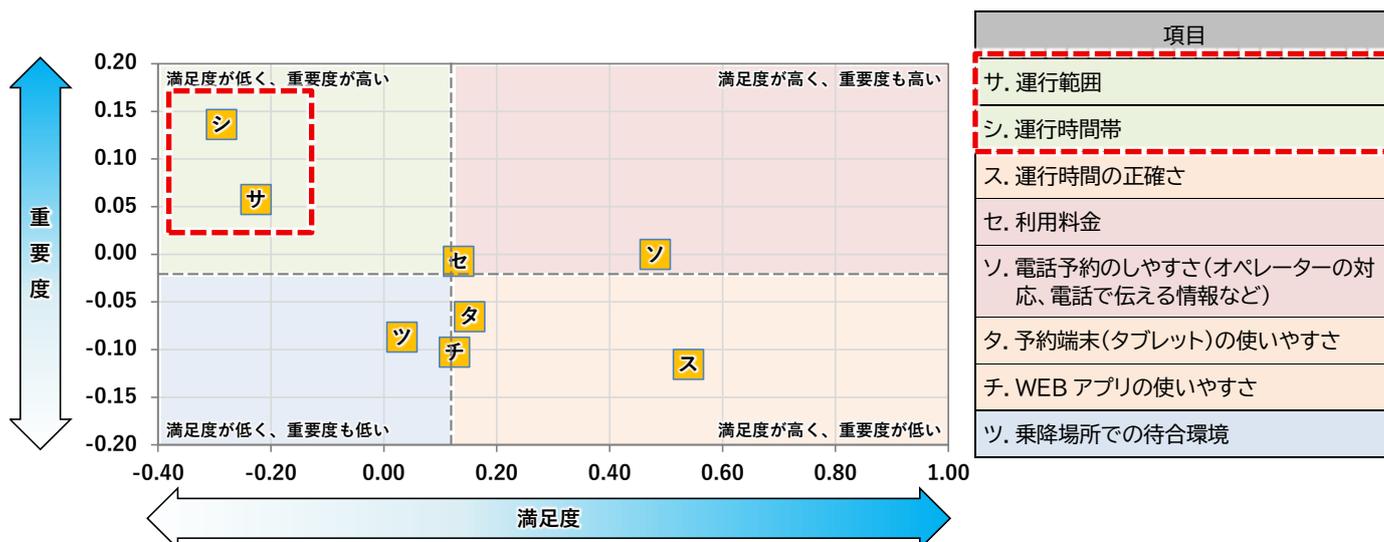


図 SmartGOTO 南三陸に対する評価

(7) 今後の南三陸町の公共交通のあり方・町民の関わり方

①南三陸町全体の公共交通のあり方

- ・全体的に地域が主体となって公共交通の維持や推進を望む声が比較的多くなっているほか、「現状のサービスレベルを維持するのが良い」との意見が多くみられた。
- ・一方で、町主体でのサービスの維持・向上を望む声も1割程度存在している。

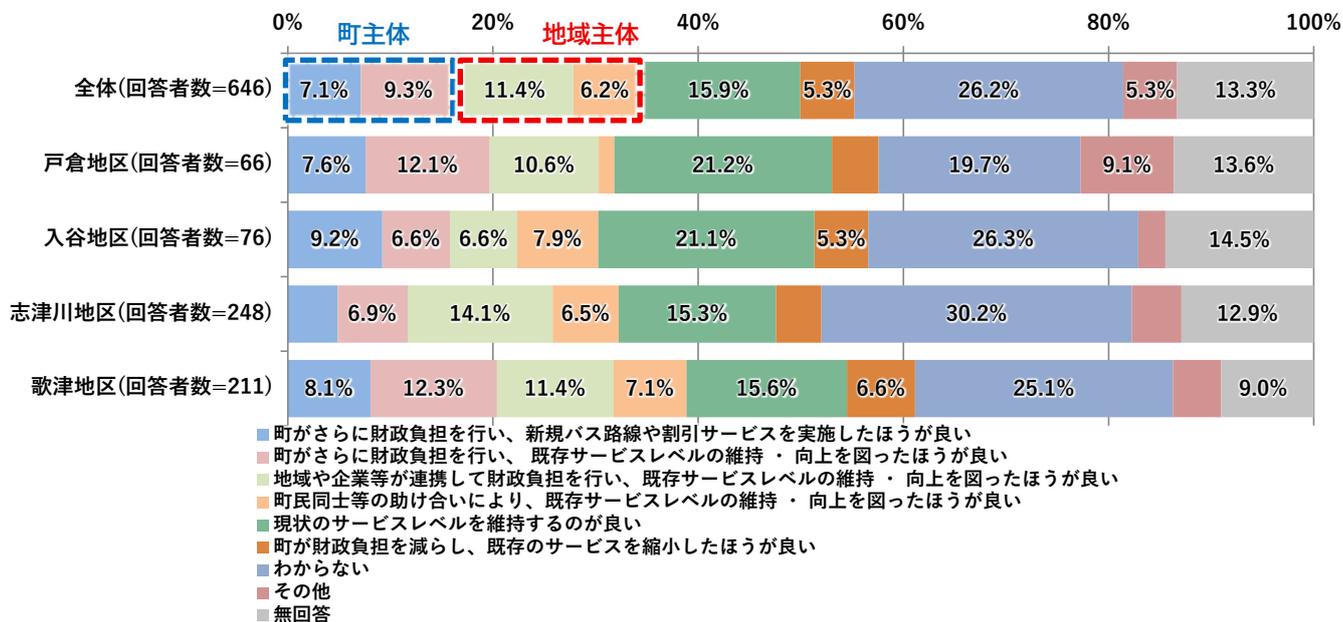


図 地区別の今後の南三陸町全体の公共交通のあり方

※地区未回答は非表示

②「公共交通の維持」のための取り組み

- ・公共交通維持のため自身ができる取り組みとして「バス優先の運転」が22.4%（145人）と最も高い。
- ・バスを利用するために効果的だと思える取り組みとして「分かりやすい時刻表」が18.9%（122人）と最も高い。

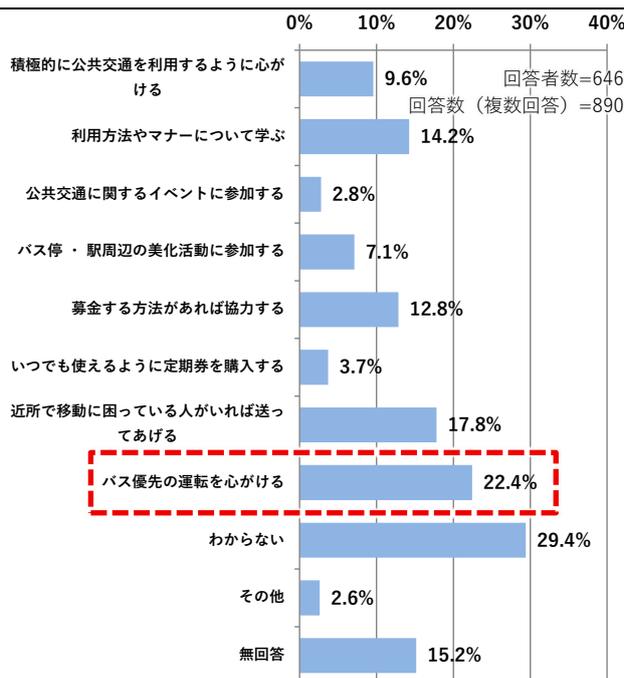


図 自身ができる取り組み

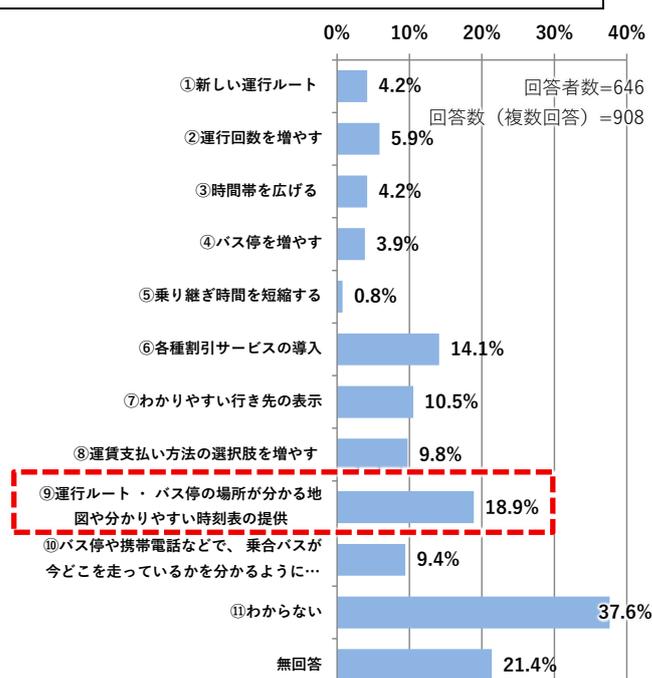


図 自身が週に1回バスを利用するために効果的だと思う取り組み

3.資料

3-1 検討経過

時 期	内 容
2025年 2月13日(木)	◇第2回南三陸町地域公共交通会議 (1) デマンド運行実証実験の評価 (2) 南三陸乗合バスの実施計画の見直し(案) (3) 運賃協議会の設置について (4) 南三陸町地域公共交通計画の策定に係る考え方(案)
2025年 8月12日(火)	◇第1回南三陸町地域公共交通会議 (1) 南三陸町地域公共交通計画策定スケジュールについて (2) 南三陸町地域公共交通計画骨子案(仮説)について
2025年 9月30日(火)	◇第2回南三陸町地域公共交通会議 (1) 南三陸町地域公共交通計画 構成・計画(案)について (2) 町民アンケート調査結果について
2025年 11月20日(木)	◇第3回南三陸町地域公共交通会議 南三陸町地域公共交通計画(素案)について
2026年 1月13日(火)	◇第4回南三陸町地域公共交通会議 南三陸町地域公共交通計画(案)について
2026年 2月4日(水)	◇第5回南三陸町地域公共交通会議 (1) 南三陸町地域公共交通計画(案)について (2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(自己評価)について
2026年 2月6日(金) ～ 3月7日(土)	◇パブリックコメント 南三陸町地域公共交通計画(案)について

3-2 南三陸町地域公共交通会議設置要綱

平成30年9月3日

告示第80号

南三陸町地域公共交通会議設置要綱（平成29年南三陸町告示第80号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 道路運送法（昭和26年法律第183号）第9条第4項及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号。以下「法」という。）第6条の規定に基づき、南三陸町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を設置する。

（協議事項等）

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- （1） 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様等に関する事項
- （2） 市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- （3） 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項
- （4） 地域公共交通計画（法第5条に規定する地域公共交通計画をいう。）の策定及び変更に関する事項
- （5） 地域公共交通利便増進実施計画（法第27条の16に規定する地域公共交通利便増進実施計画をいう。）の策定及び変更に関する事項
- （6） 前各号に掲げるもののほか、交通会議が必要と認める事項

2 交通会議に、運賃協議分科会（以下「分科会」という。）を置き、乗合旅客運送の運賃又は料金に関する事項について協議するものとする。

（交通会議の構成員）

第3条 交通会議の委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は指名する。

- （1） 住民又は利用者の代表
- （2） 一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者
- （3） 国土交通省東北運輸局宮城運輸支局長又はその指名する者
- （4） 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所気仙沼国道維持出張所長又はその指名する者
- （5） 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者
- （6） 宮城県気仙沼土木事務所長又はその指名する者
- （7） 宮城県南三陸警察署長又はその指名する者
- （8） 宮城県企画部地域交通政策課長又はその指名する者
- （9） 学識経験者その他町長が必要と認める者
- （10） 南三陸町副町長

第3条の2 分科会は、前条第1号の委員（1人）、同条第2号の委員（2人以内）、同条第3号の委員（1人）及び同条第10号の委員により構成する。

2 分科会に分科会長を置き、前条第10号の委員がこれに当たる。

3 分科会の運営その他に関し必要な事項は、分科会長が分科会の会議に諮って定める。

（任期）

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び会長職務代理者）

第5条 交通会議に会長及び会長職務代理者を置く。

2 会長は、交通会議を代表し、会務を総括する。

3 会長は、第3条第10号に規定する者をもって充てる。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長職務代理者がその職務を代理する。

5 会長職務代理者は、会長があらかじめ指名する委員とする。

（会議）

第6条 交通会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、これを開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前項に関わらず、「地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について」（国自旅第161号平成18年9月15日）に定める「地域公共交通会議の設置及び運営に関するガイドライン」5.（3）地域公共交通会議における検討プロセスに基づく協議結果は、地域公共交通会議の議決があったものとみなす。

5 会議は、原則として公開する。

6 委員に事故があるときは、あらかじめその委員が指名する者がその職務を代理することができる。

7 会長は、会議を開く暇がなく、かつ、軽微な事案又は迅速な対応を要する事案と認めるときは、書面により委員の賛否を求め、その結果をもって会議の議決に代えることができる。

（関係者の出席）

第7条 交通会議は、必要に応じ、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（協議結果の取扱い）

第8条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

（庶務）

第9条 交通会議の庶務は、企画課において処理する。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この告示は、平成30年9月3日から施行する。

附 則（令和3年告示第19号）

この告示は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和7年告示第13号）

この告示は、令和7年4月1日から施行する。

3-3 南三陸町地域公共交通会議委員名簿

委嘱区分	団 体	役 職	委 員
第 1 号委員	南三陸町行政区長連絡協議会	副会長	佐 藤 和 文
	社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会	事務局長	高 橋 吏 佳
	南三陸町老人クラブ連合会	会長	小 山 幸 七
	南三陸町 P T A 連合会	会長	舘 寺 俊 明
	一般社団法人南三陸町観光協会	会長	佐 藤 太 一
第 2 号委員	東日本旅客鉄道株式会社東北本部 企画総務部経営戦略ユニット	担当課長	阿 部 嘉 貴
	歌津タクシー	代表	及 川 直 和
	一般社団法人宮城県タクシー協会 気仙沼支部		菅 原 淳 一
第 3 号委員	東北運輸局宮城運輸支局	首席運輸企画専門官	関 澤 京 子
第 4 号委員	東北地方整備局仙台河川国道事務所 気仙沼国道維持出張所	所長	高 橋 洋 人
第 6 号委員	宮城県気仙沼土木事務所	技術副参事兼総括次長	菊 地 歩
第 7 号委員	宮城県南三陸警察署	交通課長	村 田 文 洋
第 8 号委員	宮城県企画部地域交通政策課	主事	木 村 優 里 華
第 9 号委員	公立大学法人宮城大学	特任教授	徳 永 幸 之
	登米市まちづくり推進部市民協働課	課長	千 葉 克 巳
第 10 号委員	南三陸町	副町長	三 浦 浩